

【参考資料】

- ・ あいち自動車環境戦略 2020 に関する取組の実施状況一覧
- ・ リーフレット「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制に関する要綱」
- ・ チラシ「電気で走るクルマのための充電設備を設置しましょう」「従業員のための充電設備を設置しましょう」
- ・ リーフレット「エコドライブでいこう！」
- ・ 愛知県内の水素ステーションマップ
- ・ リーフレット「エコカーにしよう」
- ・ チラシ「国道 23 号通行ルール（名古屋南部地域）」
- ・ 大気環境目標値の見直しについて（第 1 次答申）（名古屋市）

あいち自動車環境戦略2020に関する取組の実施状況一覧

(平成29年11月現在)

目次

1	自動車単体対策の強化等	・・・	1
2	車種規制の実施及び流入車の排出基準の適合車への転換の促進	・・・	4
3	低公害車の普及促進	・・・	5
4	エコドライブの普及促進	・・・	13
5	交通需要の調整・低減	・・・	17
6	交通流対策の推進	・・・	31
7	自動車交通集中地域等の対策の推進	・・・	34
8	普及啓発活動の推進	・・・	34
9	道路環境改善対策	・・・	37

※あいち自動車環境戦略2020に掲げる施策ごとに分類しています。

1 自動車単体対策の強化等

(1) ディーゼル車対策の促進

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
1 最新規制適合車の普及	中部運輸局	順次強化される排出ガス規制及び導入される排出ガス新試験モードを当該自動車の製作年月日、車種及び車両総重量等により区分し適用。	継続			
	名古屋市	○最新規制適合自動車代替促進事業 中小企業事業者、幼稚園・保育園、福祉施設等が車齢8年超えの送迎用自動車をポスト新長期規制適合車以上の環境性能を有する自動車など最新規制適合車へ代替する場合に補助を実施(3件)	継続	○最新規制適合自動車代替促進事業 中小企業事業者、幼稚園・保育園、福祉施設等が車齢8年超えの貨物自動車等をより環境性能のよい、最新規制適合車へ代替する場合に補助を実施	継続	
	(一社)愛知県トラック協会	○ポスト新長期規制適合車導入に係る近代化基金融資 ポスト新長期規制適合車を購入する際の利子の一部補給(492台)	継続		継続	
	石油連盟	サルファーフリー自動車燃料(ガソリン・軽油)を供給し、燃費・排ガス性能に優れた自動車の普及・運用に必要な環境を整備しています。 (石油業界は、国の規制に先立ち、平成17年1月よりサルファーフリー(10ppm以下)のガソリン、軽油の全国供給を開始しています)	継続		継続	
		運輸部門のCO2対策等として、国の持続可能性基準に適合したバイオ燃料をE T B E方式で導入しています(平成28年度導入目標は全国で原油換算44万KL)。	継続	国の定めたバイオ燃料の導入目標の達成に向け、取組みを継続しています(平成29年度に全国で原油換算50万KL)。	継続	引き続き、国の方針に沿ってバイオ燃料の利用を行っていきます。
	(一社)日本自動車工業会	ディーゼル重量車については、平成21年排出ガス規制に対応するために、電子制御による高圧多段燃料噴射、EGR(排気再循環システム)の精緻な制御による燃焼コントロール、DPF(ディーゼルパーティキュレートフィルター)やNOx還元触媒などの技術をシステム化した排出ガス低減技術搭載車を市場に投入。また、平成28年から導入された次期規制(NOx規制値強化やオフサイクル対策)への対応にも取り組んだ。	継続	ディーゼル重量車については、昨年に引き続き、平成21年排出ガス規制に対応するために、電子制御による高圧多段燃料噴射、EGR(排気再循環システム)の精緻な制御による燃焼コントロール、DPF(ディーゼルパーティキュレートフィルター)やNOx還元触媒などの技術をシステム化した排出ガス低減技術搭載車を市場に投入。平成28年から導入された次期規制(NOx規制値強化やオフサイクル対策)への対応にも取り組んでいる。	継続	ディーゼル重量車については、昨年に引き続き、平成21年排出ガス規制に対応するために、電子制御による高圧多段燃料噴射、EGR(排気再循環システム)の精緻な制御による燃焼コントロール、DPF(ディーゼルパーティキュレートフィルター)やNOx還元触媒などの技術をシステム化した排出ガス低減技術搭載車を市場に投入。平成28年から導入された次期規制(NOx規制値強化やオフサイクル対策)への対応にも引き続き取り組む予定。
	瀬戸市	なし	新規	ごみ収集車両に最新規制適合(ディーゼル車)を導入。(25台)	終了	
	安城市	資源ごみ収集車両に最新規制適合車(ディーゼル車)を導入	終了		終了	
	南知多町	町が委託している乗り合いバス(海っこバス)において、導入されている。	継続		継続	
	2 低公害建設機械の使用促進	中部地方整備局	【名国・愛国・名四】排出ガス対策型建設機械の使用 発注する工事においては、原則として排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(土木工事特記仕様書に記載)	継続		継続
一宮市		○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(工事標準仕様書に記載)発注後の機械確認については、報告書に排出ガス対策型建設機械のステッカーの写真を添付してもらっている。	継続		継続	
春日井市		市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(工事標準仕様書に記載)	継続		継続	
碧南市		市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(工事標準仕様書に記載) 使用確認については、施行計画及び建設機械の写真にて行う。	継続		継続	
西尾市		○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(愛知県建設部工事標準仕様書に準拠) 建設機械の確認については、施工計画及び完了写真で行う。	継続		継続	
新城市		○排出ガス対策型建設機器の使用 市が発注する工事においては、排出ガス対策型建設機器を使用することとしている。(設計書に記載)	継続		継続	
幸田町		○排出ガス対策型建設機械の使用 町が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとした。(工事標準仕様書に記載)	継続		継続	
中日本高速道路(株)名古屋支社		低公害建設機械の使用促進 新東名高速道路建設事業 名古屋第二環状自動車道建設事業	継続	低公害建設機械の使用促進 新東名高速道路建設事業 名古屋第二環状自動車道建設事業	継続	低公害建設機械の使用促進 名古屋第二環状自動車道建設事業
名古屋高速道路公社		○排出ガス対策型建設機械指定制度の促進 排出ガス対策型建設機械指定制度(第3次基準)(H18年3月)に基づき指定された排出ガス対策型建設機械の使用原則化	継続		継続	

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
2 低公害建設機械の使用促進	愛知県道路公社	○排出ガス対策型建設機械の使用 ・発注する工事においては、原則、指定された排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（愛知県建設部土木工事標準仕様書に準じるよう、特記仕様書に記載） ・確認方法は、工事完了時に使用した排出ガス対策型建設機械の写真を提出することとし、確認している。	継続		継続	
	瀬戸市	・排出ガス対策型建設機械の使用（市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（工事標準仕様書に記載））	継続		継続	
	刈谷市	○排気ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（設計書に記載） 建設機械の確認については、施行計画及び建設機械の写真にて行う。	継続		継続	
	蒲郡市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。 （特記仕様書に記載、施工計画書、立会時及び完了写真で確認）	継続		継続	
	江南市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。『積算基準及び歩掛表 愛知県建設部監修』を準拠	継続		継続	
	小牧市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（工事標準仕様書に記載）	継続		継続	
	稲沢市	○低公害建設機械の使用促進 排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（工事標準仕様書に記載）	継続		継続	
	知多市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（愛知県建設部土木工事標準仕様書に準拠） 使用機械の確認実績 施行計画書に記載の使用機械の確認及び完了写真で確認。	継続		継続	
	高浜市	低公害建設機械の使用促進 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。 （工事標準仕様書に記載）	継続		継続	
	北名古屋	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事に対しては、原則、排出ガス対策型建設機械の使用を求めている。（工事標準仕様書に記載） ○低騒音型・低振動型建設機械 「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」に基づき、市が発注する土木・建築工事の設計図書等で使用を義務づけ、使用を求めた。（土木工事標準仕様書・建築工事特記仕様書に記載）	継続		継続	
	扶桑町	排出ガス対策型建設機械の使用 町が発注する工事において、排出ガス対策型の建設機械を使用（工事標準仕様書に記載）	継続		継続	
	飛島村	排出ガス対策型建設機械の使用 村が発注する工事については、原則排出ガス対策型建設機械を使用することとする。 （工事標準仕様書に記載）	継続		継続	
	武豊町	○排出ガス対策型建設機械の使用 町が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。 （愛知県建設部工事標準仕様書に準ずる）	継続		継続	
愛知県	○排出ガス対策型建設機械 「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」等に基づき、愛知県建設部が発注する土木工事に対して、排出ガス対策型建設機械の使用を義務づけている。（土木工事標準仕様書に記載） また、愛知県建設部が発注する建築工事に対して、基本的には排出ガス対策型建設機械の使用を求めている。（建築工事特記仕様書） ○低騒音型・低振動型建設機械 「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」に基づき、愛知県建設部が発注する土木・建築工事の設計図書で使用を義務づけた場合には、低騒音型・低振動型建設機械を使用することとしている。（土木工事標準仕様書・建築工事特記仕様書に記載）	継続		継続		

(2) 啓発活動の実施

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
1 ディーゼル黒煙街頭検査・クリーンキャンペーンの実施	中部運輸局	名古屋南部周辺において、ディーゼル車を対象とした街頭検査を実施し、規制値を超える黒煙を排出する等の整備不良車に対し、必要な整備を命じるとともに、点検整備の励行などの啓発活動。（愛知県内黒煙検査：6回、24台検査）	継続			
		運輸支局に不正改造車・黒煙相談窓口（不正改造車・黒煙110番）を設置し、通報を受けたユーザーにハガキを送付し、自主点検等を指導。（6月の強化月間中の不正改造車通報件数127件、ハガキ送付枚数96枚）	継続			
	(公社)愛知県バス協会	ディーゼル黒煙街頭検査 6月及び10月を重点期間として、使用過程ディーゼル車に対するディーゼルクリーンキャンペーンを実施し、ディーゼル車から排出される黒煙の低減を図る	継続		継続	
	愛知県	国道23号・大府市北崎町及び弥富市三好においてエコドライブの普及啓発活動を中部地方整備局・中部運輸局・警察本部の取締り等と合同で6回実施。	継続	2回実施（10月末まで）	継続	
2 車両点検整備の励行	中部地方整備局	【名国・愛国・名四】車両点検整備の励行 事務所の所管する車両においては点検整備を励行している。	継続		継続	
	中部運輸局	9月及び10月に定期点検整備推進運動を実施し、ポスター及びチラシによる広報活動と街頭検査時における定期点検の励行を指導。	継続			
	一宮市	車両点検整備の励行	継続		継続	
	春日井市	車両点検整備の励行 所有する車両について、点検整備を励行している。	継続		継続	
	幸田町	○公用車点検の実施 町が管理する公用車については、月一回の業者点検と職員による車両運行前点検を実施。	継続		継続	
	(公社)愛知県バス協会	車両点検整備の励行。 9～11月の三ヶ月間、乗合バスを活用した広報活動の実施。	継続		継続	
	(一社)日本ガス協会(東邦ガス㈱)	車両点検整備を3カ月毎に実施	継続	←	継続	←
	(一社)日本自動車工業会	車両の定期点検に関する啓発ポスターを作成し、ウェブサイトに掲載。	継続	車両の定期点検に関する啓発ポスターを作成し、ウェブサイトに掲載。	継続	引き続き、車両の定期点検に関する啓発ポスターを作成し、ウェブサイトに掲載する予定。
	中部電力(株)	車両運行前点検の実施	継続	車両運行前点検の実施	継続	車両運行前点検の実施
	東海市	車両点検整備の励行	継続		継続	
	愛知県	○車両点検整備の励行 財産管理課で管理している貸出車両（バン）については、運行前後に車両点検を行い、財産管理課自動車運転手が運行する公用車については、各担当者が定期的に点検を行っている。	継続		継続	
3 不正混和軽油等の使用防止	中部運輸局	ディーゼル車に対し、街頭検査で軽油抜き取り検査を実施し、不正軽油の使用防止を図る。（愛知県内不正軽油検査6回、24台検査）	継続			
	愛知県	愛知県不正軽油撲滅対策会議を設置し、軽油抜き取り調査を実施し、不正軽油撲滅のための広報活動等を行う。	継続		継続	

2 車種規制の実施及び流入車の排出基準の適合車への転換の促進

(1) 規制の実施、強化等

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）	平成30年度以降に実施予定の取組		
1 自動車Nox・PM法に基づく施策の実施	一宮市			新規	はしご自動車（本署・尾西署）を平成30・31年度にNOx・PM法適合車両に更新予定。	
	愛知県	環境省の委託により、総量削減計画進行管理調査を実施	継続	継続		
3 車種規制非適合車の使用抑制の推進	中部地方整備局	【名国】特殊車両指導取締り 国道23号（下り）大府市北崎町において指導取締りを3回実施。国道23号（上り）弥富市三好町で指導取締りを3回実施。	継続 継続	継続	継続	○特殊車両指導取締り 国道23号（下り）大府市北崎町において指導取締りを1回実施し、あと2回実施予定。国道23号（上り）弥富市三好町で指導取締りを1回実施しあと1回実施予定
	名古屋市	○車種規制非適合車の使用抑制等に関する取り組み ①非適合貨物自動車等の使用者の把握 非適合貨物自動車等の実態を把握するために、国道23号を通行する車のナンバープレートの調査を実施。 ②普及啓発 市内の荷主等及び非適合貨物自動車等の使用者に対し、使用抑制のパンフレットを送付	継続		継続	
	岡崎市	○車種規制非適合車の使用抑制の推進 貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱に基づき、非適合車の使用抑制を推進する。	継続		継続	
	愛知県	○貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制 「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱」に基づき、愛知県農林水産部及び建設部が発注する工事において、「自動車NOx・PM法」の対策地域外からの流入車も含め、車種規制非適合車の使用抑制に努める。（工事標準仕様書に記載）	継続		継続	
		荷主等に対し、車種規制非適合車の使用抑制が図られるよう、県事務所による立入指導を実施。 要綱に基づく届出を実施させるため、届出対象事業者に対して通知を行うとともに、未提出事業所に対しては、指導・立入等を行い、届出の徹底を図る。	継続		継続	

3 低公害車の普及促進

(1) 次世代自動車等先進エコカーの導入促進

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組		平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組		
1 次世代自動車等先進エコカー導入に対する 助成・優遇措置	中部運輸局	超小型モビリティの普及や地方自治体、観光・流通関係事業者、ディベロッパー等の主導による先行導入や試行導入に対し支援。	継続					
	豊橋市	○電気自動車等購入補助金 電気自動車、プラグインハイブリッド、燃料電池自動車の購入等への補助 (EV9台、PHV20台、FCV10台)	継続			継続		
		○電動バイク購入補助金 電動バイク購入等への補助 (2台)	継続			継続		
	岡崎市	○事業用の低公害車(3、5ナンバーを除く)を購入する中小企業者に融資をあっせんし、融資利子相当額を補助している。(予算額850千円)	継続	○事業用の低公害車(3、5ナンバーを除く)を購入する中小企業者に融資をあっせんし、融資利子相当額を補助している。(予算額670千円)	継続		継続	
		○次世代自動車 (FCV、EV、PHV) 補助金の実施 (予算額15,000千円)	継続	○次世代自動車 (FCV、EV、PHV) 補助金の実施 (予算額9,500千円)	継続		継続	
	豊川市	○クリーンエネルギー自動車購入費補助金 電気自動車 (EV)、プラグインハイブリッド自動車 (PHV)、燃料電池自動車 (FCV) の購入費の補助 (EV9台、PHV9台、FCV3台)	継続			継続		
	豊田市	次世代自動車普及促進費補助金 次世代自動車の購入に対して補助金を交付 個人向け：79件 事業者向け：51件	継続	次世代自動車普及促進費補助金(8月時点) 次世代自動車の購入に対して補助金を交付 個人向け：173件 事業者向け：42件		継続	引続き補助を予定	
	西尾市	○低公害車普及促進事業補助金 低公害車を導入する個人及び法人に対して補助金を交付。(36台)	継続			継続		
	新城市	○電気自動車購入等補助金 EV・PHVを購入する市民への補助 (実績：EV2件、PHV0件)	継続			継続		
	日進市	電気自動車充電設備 (V2H) を設置した市民への補助金	継続	電気自動車充電設備 (V2H) を設置した市民への補助金		継続	電気自動車充電設備 (V2H) を設置した市民への補助金	
	幸田町	○低公害車導入促進費補助金 次世代自動車 (FCV・EV・PHV) を導入する町内個人・事業者に対して補助金を交付 FCV1台 (事業者) ・EV2台 (個人) ・PHV5台 (個人)	継続			継続		
	(一社) 愛知県トラック協会	○低公害車導入助成 CNGトラック、ハイブリッドトラックを導入する事業者に対して補助金を交付 (CNG：41台、ハイブリッド46台)	継続			継続		
(公社) 愛知県バス協会	ハイブリッドバス、CNGバスに対する助成措置。	継続			継続			

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）	平成30年度以降に実施予定の取組	
1 次世代自動車等先進エコカー導入に対する 助成・優遇措置	刈谷市	<p>○低公害車購入費補助制度 低公害車を新規購入され、一定の条件を満たす市民、市内事業者へ補助金の交付を実施</p> <p>●電気自動車、プラグインハイブリッド自動車 個人：1台につき車両本体価格（税抜）の10%（上限30万円） 事業者：1台につき15万円</p> <p>●ハイブリッド自動車、天然ガス自動車 1台につき5万円</p> <p>●燃料電池自動車 個人：車両本体価格と一般社団法人次世代自動車振興センターが定める該当車両の基準額との差額に2/3を乗じて得た額を、車両本体価格から差し引いた額の10%（上限50万円） 事業者：車両本体価格と一般社団法人次世代自動車振興センターが定める該当車両の基準額との差額に11/12を乗じて得た額を、車両本体価格から差し引いた額の10%（上限40万円）</p> <p>【補助実績】 燃料電池自動車 : 23台 電気自動車 : 7台 プラグインハイブリッド自動車 : 21台 ハイブリッド自動車 : 1,339台 合計 : 1,390台</p>	継続	継続	
		<p>○超小型電気自動車購入費補助制度 超小型電気自動車を新規購入され、一定の条件を満たす市民、市内事業者へ補助金の交付を実施 車両本体価格の10%（上限7万円）</p> <p>【補助実績】 1台</p>	継続	継続	
	安城市	<p>○次世代自動車購入費補助制度 F C V・E V・P H Vの購入者に対して補助金を交付する（58件）</p>	継続	継続	
	稲沢市	<p>○次世代自動車等先進エコカー導入に対する助成・優遇措置 F C V購入に対する補助金（1台2.5万円、予算4台、実績4台）</p>	継続	終了	
	知立市		<p>○次世代自動車普及促進費補助金 個人が購入する電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入補助 補助額は、電気自動車又はプラグインハイブリッド自動車については8万円、燃料電池自動車については、30万円</p>	新規	継続
	田原市	<p>○電気自動車等購入補助金 個人及び事業者が購入する電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入補助 補助額は、車両本体価格に100分の5を乗じて得た額とし、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車については5万円、燃料電池自動車については20万円を限度</p>	終了	新規	<p>○新たなエネルギーシステム構築に対する補助制度の検討 車両単体補助ではなく、外部給電器などとのセットで新たなエネルギーシステムを構築するものに対しての補助金制度を検討する。</p>
	みよし市	<p>○エコエネルギー促進事業補助金（低公害車） 低公害車を導入する個人に対して補助金を交付。 FCV: 上限35万、EV、PHV: 上限15万、HV: 上限5万（約400台）</p>	継続	継続	継続
	愛知県	<p>・平成24年1月以降に新車新規登録を受けたEV・PHV・FCVに対する自動車税の課税免除。 ・課税免除制度を2年間延長</p> <p>低公害車を導入する事業者に対して補助金を交付。 対象車種：CNGトラック・CNGバス、ハイブリッドトラック・ハイブリッドバス、電気自動車トラック、電気自動車乗用車（PHVを含む）、FCV 【実績】308台</p>	継続	平成30年度末までに新車新規登録を受けたEV・PHV・FCVが対象	継続
		継続	継続	継続	

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）	平成30年度以降に実施予定の取組	
3 公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入	東海農政局	公用車の低公害・低燃費車の率先導入を継続して実施。（ハイブリッド車2台、アイドリングストップ装置装着車1台を導入）	継続 平成29年3月に農林水産省が事務及び事業に関し温室効果ガス排出の抑制等のため実行すべき措置について定める実施計画を策定し、その中で次世代型自動車（ハイブリッド、プラグインハイブリッド、クリーンディーゼル、電気自動車等）の導入をはじめ、省エネルギー機器（ETC2.0）の導入、バイオ燃料の利用、アイドリングストップや公共交通機関を利用することによる公用車の運用見直し、公用車の保有台数の見直すこと等が取り組むこととしている。	継続 農林水産省の実施計画に基づき、平成30年度も東海農政局として実施予定。	
	中部運輸局	公用車を更新する際には、原則低公害車を導入（現状：ハイブリッド車13台、低排出・低燃費車15台、燃料電池自動車1台）	継続		
	中部地方環境事務所	ハイブリッド車：3台（特殊作業車含む） 低排出ガスカつ低燃費車：2台	継続		継続
	名古屋市	○公用車への次世代自動車の導入	継続	PHV:1台導入 EV:3台導入（うち、1台は導入予定）	継続
		○市バスへの低公害車の導入 ・ポスト新長期規制適合バス35両導入（低公害バス累計691両（68.3%）、うちCNGバス30両、ハイブリッド1両）	継続	・2016年規制適合バス45両導入（低公害バス累計706両（69.6%）	継続 ・2016年規制適合バスの導入
	豊橋市	公用車にFCV2台を導入	継続	公用車にクリーンエネルギー自動車を導入（2020年までに3台/年ずつ導入予定）	継続 公用車にクリーンエネルギー自動車を導入（2020年までに3台/年ずつ導入予定）
	岡崎市	○公用車にEV1台導入	継続	購入検討中	継続
	半田市	○公用車に次世代自動車等先進エコカーを導入（FCV1台）	継続		継続
	春日井市	グリーン調達計画に基づき、次世代自動車等を導入（平成28年度購入台数の内78%が次世代自動車（7台））	継続		継続
	津島市	○公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入 巡回バスの運行を、クリーンディーゼルの小型バス2台で行った。	継続		継続
	碧南市	公用車にHV車1台、低公害車2台を導入した。	継続	新規購入、更新する公用車がないため、予定なし。	継続 公用車の買い替えを行う際は導入していく。
	豊田市	公用車の率先導入 燃料電池自動車 0台 プラグインハイブリッド自動車 18台 ハイブリッド自動車 2台 天然ガス自動車 0台 電気自動車 0台 ☆☆☆☆&平成27年度燃費基準達成車 22台 ☆☆☆☆ 0台	継続	公用車の率先導入 燃料電池自動車 0台 プラグインハイブリッド自動車 0台 ハイブリッド自動車 0台 天然ガス自動車 0台 電気自動車 0台 ☆☆☆☆&平成27年度燃費基準達成車 2台 ☆☆☆☆ 0台	継続 公用車の率先導入 燃料電池自動車 0台 プラグインハイブリッド自動車 0台 ハイブリッド自動車 0台 天然ガス自動車 0台 電気自動車 0台 ☆☆☆☆&平成27年度燃費基準達成車 9台 ☆☆☆☆ 0台
	西尾市	公用車に次世代自動車等エコカーを導入。（HV2台）	継続		継続
	新城市	○公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入 公用車の買い替えを行う際は導入していく	継続	新規購入、更新する公用車がないため、予定なし	継続 公用車の買い替えを行う際は導入していく
	日進市	公用車へのエコカー導入	継続	公用車へのエコカー導入	継続 公用車へのエコカー導入
	豊山町	公用車への低公害・低燃費車の導入 実績2台	継続	公用車への低公害・低燃費車の導入 実績5台	継続
	名古屋高速道路公社	○低公害・低燃費車の率先導入による普及啓発 ・ハイブリッド車：3台 ・低排出ガス車（新☆☆☆☆、新☆☆☆☆）：22台 ・ポスト新長期：16台 ・新長期：14台	継続		継続
	瀬戸市	・公用車にHV車1台導入	継続	・公用車にHV車1台導入	継続

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
3 公用車への次世代自動車等 先進エコカーの率先導入	刈谷市	公用車に7台エコカーを導入 【導入実績】 購入車 7台 (低燃費車 7台)	継続		継続	
	蒲郡市	公用車に低公害車（低排出ガスや低燃費の基準をみたすもの）を導入 (10台)	継続	公用車に低公害車（低排出ガスや低燃費の基準をみたすもの）を導入 (11台)	継続	公用車に低公害車（低排出ガスや低燃費の基準をみたすもの）を導入 予定
	犬山市	公用車へのエコカー導入 (ハイブリッド車1台購入)	継続	新規購入の予定はなし 現保有ハイブリッド車継続使用	継続	新規購入の予定はなし 現保有ハイブリッド車継続使用
	稲沢市	ガソリン車→先進エコカー買い替え（1台）	継続	ガソリン車→先進エコカー買い替え（2台予定）	終了	ガソリン車→先進エコカー買い替え（6台予定）
	大府市	平成28年5月に水素を燃料とする燃料電池車「MIRAI」を納車	継続	従来車をエコカーへの転換（ヴィッツハイブリッド）	継続	
	知多市	○公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入 公用車としてFCV（燃料電池自動車）1台を導入	終了		終了	
	知立市	公用車への超小型電気自動車購入（3台）	終了		終了	
			新規	公用車へのPHV購入（1台）	終了	
	尾張旭市	公用車の買い替えの際に、次世代自動車等先進エコカーの導入に努める。	継続		継続	
	高浜市	公用車に低排出ガス車を導入（リース車含む） EV・PHVの実績なし	継続		継続	
	岩倉市	公用車に電気自動車（1台）を導入	終了			
	田原市	○公用車へのエコカー率先導入 公用車の更新のタイミングで低排出ガス車などへの切り替えを実施	継続	○公用車へのエコカー率先導入 公用車の更新のタイミングで低排出ガス車当への切り替えを実施	継続	
	北名古屋		新規	○公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入 市役所公用車の低公害車への転換率の向上	継続	
	みよし市	公用車に低公害車等を計画的に導入 (HV車 9台)	継続		継続	
	あま市	ハイブリッド車1台購入	継続	ハイブリッド車2台購入予定	継続	公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入
	大口町	該当なし	継続	該当なし	継続	公用車へのハイブリッド車等エコカーの導入
	扶桑町	公用車に低公害車を計画導入	継続		継続	公用車に低公害車を計画導入・ハイブリッド車の計画的導入
	蟹江町	超小型電気自動車（コムス）の導入（寄贈車1台）	終了			
	東浦町	公用車に次世代自動車等推進エコカーを導入 公用車4台更新	継続	公用車に次世代自動車等推進エコカーを導入	継続	公用車に次世代自動車等推進エコカーを導入 公用車2台更新予定
	美浜町	公用車に低公害・低燃費車を導入（1台）	継続	公用車に低公害・低燃費車を導入（4台）	継続	公用車に低公害・低燃費車を導入
東栄町	公用車の買い替えを行う際は導入 (EV車1台リース、HV車1台)	継続	公用車の買い替えを行う際は導入 (EV車1台リース)	継続	公用車の買い替えを行う際は導入していく	
愛知県	県公用車への次世代自動車等先進エコカー導入（低排出かつ低燃費 車、HV、PHV、FCV（リース）） 【実績】PHV2台、HV4台、低排出かつ低燃費車20台	継続		継続		

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
4 従来車の次世代自動車等先進エコカーへの転換促進	中部地方環境事務所	・先進環境対応トラック・バス導入加速事業（国交省・経産省連携事業） 対象者：トラック・バス所有事業者 対象車両：燃料電池・電気・ハイブリッド（プラグインハイブリッド含む）・天然ガスのトラック・バス（購入又はリース） 補助率：通常車両価格との差額の1/2又は2/3以内	継続		継続	
			新規	・低炭素型ディーゼルトラック普及加速化事業（国交省連携事業） 対象者：貨物運送事業者（中小企業者に限る）、リース会社 対象車両：ディーゼルトラックのうち車両総重量の区分に応じた基準を満たす車両 補助率：1/2又は1/3以内	継続	
	名古屋市	○グリーン配送の実施 平成18年度より、物品を納入する事業者等に低公害・低燃費車などの使用を求める「グリーン配送」を実施。	継続		継続	
	岡崎市	○第5回岡崎版エコポイント抽選（予算額1,014千円）	終了			
	春日井市	環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施しているかすがいエコオフィス認定事業所において、次世代自動車の導入を推進	継続		継続	
	（一社）日本ガス協会（東邦ガス株）	天然ガス自動車 25台導入 （天然ガス自動車累計592台導入H28年度末）	継続	天然ガス自動車22台（予定）導入	継続	←
		燃料電池自動車（FCV）1台導入	継続	燃料電池自動車（FCV）1台導入（4台目：中部ガス2台、東邦ガス2台）	終了	
中部電力（株）	なし	継続	プラグインハイブリッド車の導入（1台）	継続	プラグインハイブリッド車の導入（数量未定）	
6 電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の普及促進	中部運輸局	電気自動車の普及促進を図るため、地域や事業者による電気自動車の集中的導入を誘発・促進するような地域・事業者間連携等による先駆的な取組を行う自動車運送事業者等に対して、バス、タクシー及びトラックの電気自動車の導入を重点的に支援するため、「電気自動車による地域交通グリーン化事業」を公募。（低公害車普及促進対策費補助金）	継続	次世代自動車の普及促進を図るため、地域や事業者による集中的導入を誘発・促進するような地域・事業者間連携等による先駆的な取組を行う自動車運送事業者等に対して、バス、タクシー及びトラックの次世代自動車の導入を重点的に支援するため、「地域交通のグリーン化に向けた次世代環境対応車普及促進事業」を公募。（低公害車普及促進対策費補助金）		
	名古屋市	○超小型モビリティ認定制度 事業者（2社）による超小型電気自動車の導入促進（計5台 実証実験を実施）	継続		継続	
	岡崎市	○電気自動車用急速充電設備開放事業 市役所、道の駅等に電気自動車充電器を整備し、一般開放している。 ○電気自動車、FCVを活用した環境学習等の実施（展示、試乗）	継続		継続	
	大府市	○電気自動車等充電設備開放事業 電気自動車等充電設備を市内2か所設置し、一般開放している。	継続		継続	
	愛知県	・あいち次世代自動車インフラ整備推進協議会の開催（1回）	継続		継続	
EV・PHVタウン事業の推進（ネットワーク運営、マスタープラン改訂、普及啓発チラシ作成等） 「従業員向け充電設備整備促進ガイドライン」及び「EV・PHV用充電設備整備促進ガイドライン」を作成（平成28年3月）		継続		継続		

(2) 燃料供給施設等のインフラ整備促進

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）	平成30年度以降に実施予定の取組	
1 充電インフラ設備の整備促進	中部運輸局	電気自動車の普及促進を図るため、地域や事業者による電気自動車の集中的導入を誘発・促進するような地域・事業者間連携等による先駆的な取組を行う自動車運送事業者等に対して、バス、タクシー及びトラックの電気自動車の導入を重点的に支援するため、「電気自動車による地域交通グリーン化事業」を公募。（低公害車普及促進対策費補助金）	継続 次世代自動車の普及促進を図るため、地域や事業者による集中的導入を誘発・促進するような地域・事業者間連携等による先駆的な取組を行う自動車運送事業者等に対して、バス、タクシー及びトラックの次世代自動車の導入を重点的に支援するため、「地域交通のグリーン化に向けた次世代環境対応車普及促進事業」を公募。（低公害車普及促進対策費補助金）		
	豊橋市	○次世代自動車充電設備購入補助金 普通充電器、急速充電器購入者への補助 不特定多数の者に利用させるもの、不特定多数の者から多数の者に利用させるものでも可（アパートや会社等の充電設備でも可）	継続		継続
		○住宅用充電設備導入補助金 次世代自動車への住宅用の充電設備への補助（12件） 充電設備には補助額を加算	継続		継続
		公共施設での充電設備の運用（普通充電器19基、急速充電器5基）、ICカード認証システムの導入	継続		継続
	碧南市	市役所駐車場に設置した電気自動車充電スタンド1基を維持管理	継続		継続
	豊田市	充電施設の利用促進	継続 ・市内公共施設に設置した34箇所45基の充電器を施設利用者に向けて無料開放 ・市HP、あいちEV・PHV普及ネットワークポータルサイト等で施設情報を公開		引き続き無料開放予定 継続
	中日本高速道路(株)名古屋支社	電気自動車用急速充電設備における充電待機用駐車スペースの整備。 東名高速道路 上郷S.A（上下線各1ます）			
	中部電力(株)	なし	継続 なし		継続 同上用の充電設備の設置（数量未定）
	知立市	市役所駐車場に電気自動車充電器を設置（1基）	終了		終了
	尾張旭市	○電気自動車等充電設備設置費補助 電気自動車等充電設備設置に係る経費の一部を補助（実績：0件）	継続 （実績見込み：1件）		継続
	東郷町		新規 電気自動車等充電設備（V2Hの設備に限る）の設置費等に対する補助金の交付		継続
	愛知県		継続 あいち次世代自動車インフラ整備推進協議会の開催（1回）		継続
		継続 平成26年11月4日に運用開始した愛知県庁本庁舎正面玄関横に普通充電器（1基）の運用		継続	
2 天然ガススタンドの整備促進	中部運輸局	物流の低炭素化促進事業の公募、周知	継続		
	(一社)日本ガス協会(東邦ガス株)	港明エコ・ステーションを移転・能力増強をして、天然ガス、水素、LPGを併せて供給する「みなとアクルスエコ・ステーション」(港区)H28年5月オープン。「低炭素価値向上に向けた二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金」を活用	終了		
		新規 大型天然ガストラック等の大型車両が利用できる天然ガススタンドに対し補助金※が設立され、名古屋市(名西エコ・ステーション)の設備のオーバーホールを実施し、スタンドの維持・継続を図る。(愛知県内4件:当社1件含む) ※「天然ガスの環境調和等に資する利用促進事業補助金」:国土強靱化・環境への貢献を目的とし、大型天然ガス車両が利用できる天然ガススタンドの整備に対して助成を行うもの(経産省)		継続 次年度以降も補助金が継続される予定	

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組(予定も含む)	平成30年度以降に実施予定の取組	
3 水素供給施設の整備促進	中部経済産業局	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中部FCV水素供給インフラ整備推進会議の運営 ・ 水素ステーション整備支援 ・ FCV試乗などのイベント出展や各種情報発信等による普及啓発活動 ■ 水素供給設備整備事業費補助金 ・ 四大都市圏を中心に民間事業者等の水素ステーション整備費用の一部を補助。水素供給設備を活用したFCVの新たな需要創出等に必要な活動費用の一部を補助。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中部FCV水素供給インフラ整備推進会議の運営 ・ 水素ステーション整備支援 ・ セミナー開催や各種情報発信等による普及啓発活動 ■ 燃料電池自動車用水素供給設備設置補助事業 ・ 燃料電池自動車等に燃料として水素を供給するための必要な設備の整備費用の一部を補助する。 ■ 電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の充電インフラ整備事業費補助金 ・ 電気自動車 (EV) ・プラグインハイブリッド自動車 (PHV) の普及に不可欠な充電インフラの整備を図るため、整備の加速が特に期待されるマンション、事業所、道の駅、高速道路SA・PA等の駐車場に支援を講じる。具体的には、充電器等の購入費及び工事費を補助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中部FCV水素供給インフラ整備推進会議の運営 ・ 水素ステーション整備支援 ・ セミナー開催や各種情報発信等による普及啓発活動 ■ 燃料電池自動車用水素供給設備設置補助事業 ・ 燃料電池自動車等に燃料として水素を供給するための必要な設備の整備費用の一部を補助する。(平成30年度概算要求額：57.0億円) ■ 電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の充電インフラ整備事業費補助金 ・ 電気自動車 (EV) ・プラグインハイブリッド自動車 (PHV) の普及に不可欠な充電インフラの整備を図るため、整備の加速が特に期待されるマンション、事業所、道の駅、高速道路SA・PA等の駐車場に支援を講じる。具体的には、充電器等の購入費及び工事費を補助する。(平成30年度概算要求額：15.0億円) 	
	豊田市	とよたエコフルタウンにおいて水素ステーションと燃料電池自動車の仕組みや導入の効果等をPR	継続	継続	
	石油連盟	石油会社が、燃料電池自動車の普及に不可欠な、水素ステーションを建設・運営しています。 県内では、JXTGエネルギーが、平成28年12月に新規ステーションを開設し、計6カ所の体制で水素ステーションを運営しています。	継続	継続	
	(一社)日本ガス協会(東邦ガス㈱)	HySUTが実施するNEDO事業(水素ステーション関連の技術開発)に参画 ※HySUT：(一社)水素供給利用技術協会 NEDO：(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構	継続	←	
	安城市	愛知県内の商用水素ステーションの整備。 既に開所済みの2箇所(日進市、豊田市)に加え、新たに名古屋市(みなとアクルスエコ・ステーション)・豊橋市(移動式：中部ガス)の2箇所を開所 また、水素ステーション向け水素出荷設備を開所(東海市1箇所)	継続	開所済みの商用水素ステーション4箇所(日進市、豊田市、名古屋市、豊橋市)の運営継続。	継続
	安城市	○燃料電池自動車用水素供給設備整備費補助金制度 燃料電池自動車用水素供給設備を整備する者に補助金を交付する(0件)	継続	継続	継続
	安城市	○燃料電池自動車用水素供給設備需要創出活動費補助金制度 燃料電池自動車の需要創出をする者に補助金を交付する(0件)	継続	継続	継続
	愛知県	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいち次世代自動車インフラ整備推進協議会の開催(1回) ・ あいちFCV普及促進協議会の開催(2回) ・ 「愛知県水素ステーション整備・配置計画」の推進 ・ 民間事業者による愛知県庁移動式水素ステーションの運用(運用日数96日) 	継続	継続	継続
愛知県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水素ステーション整備費補助金(1件) ・ 水素ステーション需要創出活動費補助金(14件) ・ 燃料電池産業車両導入費補助金(2件) ・ 再生可能エネルギー由来水素供給設備補助金(1件) 	継続	継続	継続	

(3) 次世代自動車等先進エコカーの研究・開発

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
1 次世代自動車等先進エコカーの研究・開発の促進	(一社) 日本ガス協会 (東邦ガス㈱)	天然ガス自動車の開発促進	継続	←	継続	←
	(一社) 日本自動車工業会 (トヨタ自動車㈱)	<ul style="list-style-type: none"> ハイブリッド車を全国で約67万台販売 「オーリス」「ヴィッツ」にハイブリッドモデルを設定 C-HR を発売 新型プリウスPHVを発売 グローバル累計販売台数1000万台達成 (H29年1月末) 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ハイブリッド車を全国で約67万台(目安)販売 LC (HV) を発売 新型カムリ (HV) を発売 次世代タクシー (HV) を発売予定 新型LS (HV) を発売予定 グローバル累計販売台数1100万台達成見込み 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ハイブリッド車を全国で販売。 PHV車を全国で販売、18年に中国でカローラ・レビンPHVを導入する予定
		<ul style="list-style-type: none"> 燃料電池車の販売 燃料電池車の生産能力増強 自動車メーカー3社 (トヨタ、日産、ホンダ) は、共同で、水素供給スタンドの運営支援 	継続	<ul style="list-style-type: none"> MIRAIの生産能力増強 (3000台/年程度) トヨタブランドのFCバス2台を東京都に納車 元町工場でFCフォークリフトの利用を開始 トヨタ、日産、ホンダ、JXTG、岩谷、豊通など11社で、17年内の新会社の設立を検討 (ステーション整備・運営支援施策や整備コスト低減・効率化等) 16年12月に発足したEV事業企画室を中心に、EV技術・商品開発に向けて検討中 プリウスPHVでEVモード走行距離や自宅充電量で特典を受けられる「PHVつながるでんきサービス」を電力会社5社と共同実施 	継続	<ul style="list-style-type: none"> MIRAIの生産能力増強 20年 東京オリパラに向け東京都中心にFCバスを導入予定 EV及び次世代電池の技術、商品開発を継続
	愛知県	<p>○次世代自動車先端技術研修 中堅・中小の自動車部品メーカーの技術者等に対し、今後自動車業界で求められる次世代自動車に係る主要テーマ (燃費効率、予防・機能安全、軽量化等) について、大手完成車及び部品メーカーによる最新技術の研究に関する講座を開催する。</p> <p>【28年度実績】 愛知県と一般社団法人中部産業連盟が連携し「自動車の未来2017最新技術研究講座」を実施。 参加者数 112人 開催場所 ウィンクあいち 902、1302会議室</p>	継続		継続	
(一社) 日本自動車工業会	<p>会員メーカー各社は電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池車等の次世代自動車の開発・車種展開を推進した。 平成28年度の乗用車新車販売において次世代自動車の占める台数の全体に対する割合は、34.8%となった。</p>	継続	<p>会員メーカー各社は電気自動車、プラグインハイブリッド自動車等の次世代自動車の開発・車種展開を推進。 引き続き、充電・供給事業者と共同で、全国的な車両の導入拡大と、充電・水素供給インフラ網の整備にも取り組んでいる。</p>	継続	<p>会員メーカー各社は電気自動車、プラグインハイブリッド自動車等の次世代自動車の開発・車種展開を推進。 引き続き、充電・供給事業者と共同で、全国的な車両の導入拡大と、充電・水素供給インフラ網の整備にも取り組む予定。</p>	

4 エコドライブの普及促進

(1) エコドライブの実践

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
1 自動車運転免許の取得、更新時におけるエコドライブ教育の実施	中部地方環境事務所	・「エコドライブ10のすすめ」普及リーフレットの配布、啓発用DVDの貸出し（中部地方環境事務所）	継続		継続	
	愛知県警察本部	交通の教本（全国版）、安全運転テキスト&ガイド（愛知県版）に交通公害及びエコドライブについての啓発内容を記載 ※ それぞれにエコドライブの項目を記載	継続		継続	
	愛知県	エコドライブ普及啓発リーフレットを作成、県内の自動車学校を通じ、運転免許取得予定者へ配布	継続		継続	
2 アイドリング・ストップの徹底	東海農政局	運転手へアイドリング・ストップを心がけるよう徹底	継続		継続	
	名古屋市	○アイドリングストップの義務化 平成15年度より、市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例に基づいて、アイドリング・ストップの遵守を指導。	継続		継続	
	一宮市	○アイドリングストップの啓発 一宮市住宅事業等に関する指導要綱の適用される建築等で、付随する駐車場が500㎡以上の場合、アイドリングストップを周知するよう指導	継続		継続	
		一宮市地球温暖化対策実行計画で、アイドリングストップ等のエコドライブを励行。	継続		継続	
	春日井市	公共施設の駐車場に看板を設置するなど、アイドリング・ストップを徹底	継続		継続	
		春日井市生活環境の保全に関する条例に基づき、駐車場面積200㎡以上の駐車場管理者に、駐車場利用者に対しアイドリングストップを周知するよう指導	継続		継続	
		環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施しているかすがいエコオフィス認定事業所において、アイドリングストップの徹底を推進	継続		継続	
	日進市	アイドリングストップの啓発 「にっしん環境まちづくりサポーターズ」会員向けメールマガジンでの啓発	継続	アイドリングストップの啓発 「にっしん環境まちづくりサポーターズ」会員向けメールマガジンでの啓発	継続	アイドリングストップの啓発 「にっしん環境まちづくりサポーターズ」会員向けメールマガジンでの啓発
	幸田町	アイドリングストップの啓発	継続		継続	
	名古屋高速道路公社	○公社管理の駐車場においてアイドリング・ストップを実施 ・黒川ビル地下1階駐車場 ・高架下駐車場 ・管理基地駐車場	継続		継続	
	(一社) 愛知県トラック協会	○アイドリングストップ支援機器導入助成 アイドリングストップの実践に効果のある機器を導入する事業者に対して補助金を交付（44件）	継続		継続	
	(公社) 愛知県バス協会	アイドリングストップ運動 会員事業者への日常的・アイドリング・ストップ実施の呼びかけと、乗合バスの信号待ち時におけるお客様への環境対策へのご理解、ご協力呼びかけ	継続		継続	
	NPO法人ボランティアネイバース	アイドリング・ストップ、急発進や急停車の抑制など、エコドライブの実施（社用車・スタッフ車など）	継続	アイドリング・ストップ、急発進や急停車の抑制など、エコドライブの実施（社用車・スタッフ車など）	継続	アイドリング・ストップ、急発進や急停車の抑制など、エコドライブの実施（社用車・スタッフ車など）
	(一社) 日本自動車工業会	穏やかな発進や一定速度での走行等、具体的な方策を盛り込んだ啓発ツール「エコドライブ11のすすめ」を用いつつ、アイドリングストップの有用性についても啓発活動を実施。 全国主要都市の自動車教習所や運送事業者を対象に、エコドライブの啓発活動を実施。	継続	エコドライブ啓発ツールとして、10代、20代の世代を主な対象としたアニメーションを作成。自工会と会員会社のホームページのみならず、環境省等のホームページにもリンクを設けて、視聴拡大/効果の実現に取組んだ。このアニメを、地方自治体や関連団体でのエコドライブ啓発活動にも提供した。また、自動車販売店連合会やJAFと連携しつつ、エコドライブ教習会に自工会から講師を派遣するなどして、活動の一層の充実にも取組んだ。	継続	エコドライブ啓発ツールとして、10代、20代の世代を主な対象としたアニメーションを作成。自工会と会員会社のホームページのみならず、環境省等のホームページにもリンクを設けて、視聴拡大/効果の実現に取り組む。引き続き、このアニメを、地方自治体や関連団体でのエコドライブ啓発活動にも提供する。また、自動車販売店連合会やJAFと連携しつつ、エコドライブ教習会に自工会から講師を派遣するなどして、活動の一層の充実にも取り組む予定。
瀬戸市	・公用車のアイドリング・ストップの徹底	継続		継続		
小牧市	小牧市環境マネジメントマニュアルに基づいた運用手順書によりアイドリングストップに努めている。	継続		継続		

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
2 アイドリング・ストップの徹底	大府市	環境マネジメントシステムに基づいた手順書によりアイドリング・ストップを推進している。	継続		継続	
	知多市	○アイドリング・ストップの徹底 アイドリング・ストップに協力して宣言していただける市民、事業者の募集。宣言した方に、ステッカーを配布	継続		継続	
	知立市	アイドリングストップ徹底を職員に啓発	継続		継続	
	尾張旭市	○アイドリングストップの励行 環境マネジメントシステムに基づき、職員にアイドリングストップを励行	継続	○アイドリングストップの励行 尾張旭市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、職員にアイドリングストップを励行	継続	
	高浜市	アイドリングストップの徹底 公共施設でポスター掲示等の啓発活動	継続		継続	
	岩倉市	アイドリングストップの励行	継続		継続	
	みよし市	○アイドリング・ストップの徹底 公用車のアイドリング・ストップを徹底	継続		継続	
	扶桑町	アイドリングストップの啓発実施	継続		継続	
	南知多町	町が委託している乗り合いバス（海っこバス）において、運行会社がアイドリングストップを推奨する運行をおこなっている。	継続		継続	
	愛知県	アイドリングストップを徹底させるため、財産管理課自動車運転手に対して文書による注意喚起を実施	継続		継続	
3 事業所におけるエコドライブ推進リーダーの設置	名古屋市	○エコドライブマイスターの認定 平成20年度から、事業所内で積極的にエコドライブの実践を呼びかける「エコドライブマイスター」を認定。（累計4,067名認定）	継続		継続	
	(一社)愛知県トラック協会	○省エネ走行研修会の開催（828名）	継続		継続	
	愛知県	県内の自動車学校においてエコドライブ講習会を実施（JAFと共催） 【実績】3回開催、受講者37名	継続		継続	
4 エコドライブ・メンバーズクラブの普及	大府市	「地球温暖化防止月間」・「大気汚染防止推進月間」における啓発の一環で、広報、ホームページに掲載する。	継続		継続	
5 シンポジウムやコンテスト等イベントの開催	名古屋市	○エコドライブ講習会 エコドライブ運転を学ぶ体験型講習会を開催。（11月3日、14名）	継続		継続	
	豊橋市	6/19エコドライブ講習会開催13名参加	継続	6/4エコドライブ講習会を高等学校エコカーレースと同時開催（参加者13名）、エコカーレース内でエコドライブ啓発ブース設置（延べ109名に啓発） 9/16豊橋市主催環境イベント内でエコドライブ啓発ブース設置予定	継続	エコドライブ講習会
	岡崎市	○エコドライブコンテスト（11月27日開催10名参加）	継続	○エコドライブコンテスト（11月26日開催予定）	継続	
	春日井市	エコドライブ講習会（12月10日開催、8名参加）	継続	エコドライブ講習会（開催予定）	継続	
		地域住民を対象とした家族交通安全教室の中でエコドライブについての講話を行い周知を実施	継続		継続	
	豊田市	とよた安全安心フェスタ、トラックと交通安全・環境フェア、サンフラワーフェスティバル等イベントにおいて「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け	継続	○トラックと交通安全・環境フェア、サンフラワーフェスティバル等イベントにおいて「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け	継続	○トラックと交通安全・環境フェア、サンフラワーフェスティバル等イベントにおいて「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け
	西尾市	エコドライブコンテストの開催。（11月20日）	継続	エコドライブ講座の開催予定。（11月19日）	継続	未定

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
5 シンポジウムやコンテスト等イベントの開催	(一社)日本自動車連盟愛知支部	実車を使用して環境に優しい「エコドライブ」を学ぶ講習会です。車両に取り付けた燃費計とデータ記録装置を使って、参加者が運転した際の燃費をトレーニングの前後で計測、運転の特徴などを数値で把握し、その結果をもとに参加者に応じたアドバイスで「エコドライブ」を修得します。	継続		継続	
		国連エコドライブカンファレンスが11月末に米国にて開催され、加えて、11月にはモロッコ・マラケシュ（COP22サイドイベント）で開催された。自工会として参加し、運輸部門の温暖化対策としてエコドライブも含めた統合的対策の重要性を国内外の関係者に訴求した。一方、アジア各国の政府や自動車産業関係者に対して、エコドライブの普及促進政策の有効性を訴求した。	継続	タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピンなどの各国との会合、COP23等の国際的会合の機会を利用し、運輸部門の温暖化対策として車の高効率化ばかりに依存するのではなく、交通流の清流化やエコドライブも含めた統合的対策の重要性を政府、関係産業の代表者に訴求する。	継続	ASEAN各国との会合、COP23等の国際的会合の機会を利用し、運輸部門の温暖化対策としてエコドライブも含めた統合的対策の重要性を国内外の関係者に訴求する予定。
	尾張旭市	○エコドライブの教育 あさひ健康フェスタにおいて、エコドライブシミュレーターを使い、エコドライブ診断を実施。エコドライブの実践を呼び掛け。	継続		継続	
6 環境教育の推進	岡崎市	環境学習において、エコドライブを推奨している。	継続		継続	
	半田市	○市広報誌へエコドライブの推奨を掲示	継続		継続	
	豊川市	○職員向けの研修にてエコドライブを啓発 ・6/30開催、55人参加	継続	○職員向けの研修にてエコドライブを啓発 ・6/19開催、54人参加	継続	
	碧南市	6月の「環境月間」、11月の「エコドライブ月間」、12月の「地球温暖化防止月間・大気汚染防止月間」にあわせ、広報紙で啓発している。	継続		継続	
	豊田市	交通安全学習センターの交通安全講習（企業向け）等において「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け	継続	○交通安全学習センターの交通安全講習（企業向け）等において「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け	継続	○交通安全学習センターの交通安全講習（企業向け）等において「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け
		高齢者運転技術講習にて「とよた3Sドライブ」の実践を呼びかけ	継続	○高齢者運転技術講習にて「とよた3Sドライブ」の実践を呼びかけ	継続	○高齢者運転技術講習にて「とよた3Sドライブ」の実践を呼びかけ
	名古屋高速道路公社	○道路環境改善の啓発 ・ドライバーに対して、ラジオCM、ホームページ、道路情報板を利用したエコドライブ等の啓発	継続		継続	
	常滑市	「地球温暖化防止月間」・「大気汚染防止推進月間」における啓発の一環として、市広報誌でエコドライブを推奨	継続		継続	
	小牧市	ホームページによる啓発	継続		継続	
	大府市	職員向けの研修にてエコドライブを啓発	継続		継続	
東浦町	職員に向けて、エコドライブを推奨した	継続	職員に向けて、エコドライブを推奨する	継続	職員に向けて、エコドライブを推奨する	

(2) エコドライブシステムの普及

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）	平成30年度以降に実施予定の取組	
1 エコドライブ支援システムの普及	豊田市	エコモビ実践キャンペーン等への参加促進により、エコドライブの実践を啓発	継続	エコモビ実践キャンペーン等への参加促進により、エコドライブの実践を啓発	
	(一社) 愛知県トラック協会	○エコドライブ支援機器導入助成 エコドライブの実践に効果のある機器を導入する事業者に対して補助金を交付（6基）	継続	○EMS機器導入助成 デジタル式運行計とエコドライブ支援機器を合わせて名称をEMS機器として補助金を交付	継続
	(一社) 日本自動車工業会	燃費計などのエコドライブツールの装着に積極的に取組んだ。その結果、平成28年に販売された乗用車については、ほぼすべての車種でエコドライブツールが装着された。	継続	燃費計などのエコドライブツールを積極的に装着。現在販売されている乗用車のほぼすべての車種に装着されている状況。	継続
	(一社) 日本自動車工業会（トヨタ自動車㈱）	乗用車にエコドライブ支援装置を装着して販売。	継続	乗用車にエコドライブ支援装置を装着して販売。	乗用車にエコドライブ支援装置を装着して販売。
2 エコドライブ評価システムの普及	豊田市	エコモビ実践キャンペーン等への参加促進により、エコドライブの実践を啓発	継続	エコモビ実践キャンペーン等への参加促進により、エコドライブの実践を啓発	
	(一社) 愛知県トラック協会	○グリーン経営認証取得助成 認証取得講習会の開催及び取得費用の一部を補助する（新規3件、更新55件）	継続		継続
	(一社) 日本自動車工業会	○グリーン・エコプロジェクトの実施 参加事業者の車両の燃費データベースを構築するとともに、継続的なエコドライブ活動の推進、支援を行う。（47事業所1197両）	終了		
	(一社) 日本自動車工業会	一部のトラックメーカーにおいては、運送事業者向けにオンラインでの燃費管理システムを提供するとともに、燃費向上のための運転技術に関する講習会を開催。	継続	一部のトラックメーカーにおいては、運送事業者向けにオンラインでの燃費管理システムを提供するとともに、燃費向上のための運転技術に関する講習会を継続開催している。	継続
		一部のトラックメーカーにおいては、運送事業者向けにオンラインでの燃費管理システムを提供するとともに、燃費向上のための運転技術に関する講習会を開催する予定。			

5 交通需要の調整・低減

(1) 物流の改善

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組
2 モーダルシフトの促進	中部運輸局	物流の低炭素化促進事業の公募、周知	継続		
		「モーダルシフト等推進事業」が創設されたことを受け、CO2排出原単位の小さい輸送手段への転換を推進し低炭素型の物流体系の構築を図る。	継続		
	中部地方環境事務所	・物流分野におけるCO2削減対策促進事業(国土交通省連携事業) 鉄道等へのモーダルシフトをはじめとして、倉庫、港湾、空港等の物流拠点の低炭素化、荷役設備や機器の低炭素化、さらには水素社会実現に向けた最先端技術の導入により、物流システム全体で大幅な低炭素化を促進することを目的とする。 (1)モーダルシフトの促進等による低炭素型物流システム構築事業(1/2を上限に補助) (2)物流拠点の低炭素化促進事業(1/2を上限に補助) (3)鉄道貨物輸送へのモーダルシフトモデル構築事業(1/3を上限に補助) (4)災害等非常時にも効果的な港湾地域低炭素化推進事業(1/3を上限に補助) (5)水素社会実現に向けた産業車両の燃料電池化促進事業(対象事業により、1/2、1/3を上限に補助)	継続	(5)「産業車両の高性能電動化促進事業」(新型電動フォークリフトの導入に対しエンジン車との差額の1/3を上限に補助)に変更	継続
		・モーダルシフト・輸送効率化による低炭素型静脈物流促進事業(国土交通省連携事業) 静脈物流のモーダルシフト等を推進し、温室効果ガスの削減を図るとともに、循環型社会の構築に寄与することを目的とする。 補助対象者：民間団体 対象事業：(1)海上輸送による低炭素型静脈物流システムの構築事業、(2)当該事業の実施に伴って必要となる循環資源取扱設備の導入事業 補助割合：(1)対象経費の2/3を上限に補助、(2)対象経費の1/2を上限に補助	継続		継続
3 積載率の向上等の徹底	春日井市	環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施しているかすがいエコオフィス認定事業所において、最大積載量の遵守、燃費管理の徹底を実施	継続		継続
	NPO法人中部リサイクル運動市民の会	自社トラックを導入し、リサイクルステーション等のビン・金属類回収や、その他の運搬もまとめて行うようにし、自社の状況に合わせた効率的な物流に変更した。	継続		
5 物流拠点等の整備促進	中部運輸局	「物流業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」(H17年7月公布、H17年10月施行、平成28年10月改正)に基づく、物流拠点の集約化等によりCO2排出量削減等が図られる総合効率化計画の認定(愛知県内認定件数：2件)	継続		

(2) 公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）	平成30年度以降に実施予定の取組	
1 公共交通機関の整備及び維持・充実	名古屋市	○地下鉄東山線の終電時刻延長 平成26年7月より、金曜日及び休日の前日（8月13日～15日、12月29日～1月3日、土・日・休日は除く）における終電を45分延長	継続	継続	
		○地域巡回バスの運行時間帯拡大 平成27年4月より、地域巡回バス全22系統において、従来の8往復（9時台～16時台）に加え1往復（8時台または17時台）を増便	継続	継続	
		○バス停留所施設の整備 照明付き標識36基、上屋20基、ベンチ20基	継続	・照明付き標識50基、上屋25基、ベンチ15基	・照明付き標識50基、上屋25基、ベンチ15基
	岡崎市	○中山間地域におけるコミュニティバス等の運行 ○公共交通の利用促進 11月5日・6日に公共交通に親しむ日を実施し、公共交通に対する意識改革と利用の動機づけを行った。 ○まちなかにおけるまちバスの運行	継続	【補足】 ○まちなかにおけるまちバスの運行 H30年1月より東岡崎駅への接続に伴うルート変更を行う。	継続
		一宮市	i-バスの運行 i-タクシーの試行運行	継続 継続	継続 継続
	半田市	○地域公共交通会議の開催	継続	継続	
	春日井市	地球環境に優しい行動を積極的に行う日として、毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、自転車や公共交通機関の利用を啓発	継続	継続	
		次世代自動車の導入、自動車利用の抑制およびエコドライブの推進など環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施している事業所などを「かすがいいコオフィス」と認定し、その取り組みを促進	継続	継続	
		愛知環状鉄道設備改修補助 愛知環状鉄道の設備の改修に伴う補助金の交付 かすがいいシティバスの運行	継続 継続	継続 継続	
	豊川市	○コミュニティバス10路線を運行し、その利用促進策として「夏休み小学生50円バス」、「夏休み路線バス探検キャラバン」、「1日フリー乗車券の通年発売」等を実施。また、利用者の待合空間の改善を図るべく、一部のバス停にベンチを設置。 ・夏休み小学生50円バス 実施期間：7/16～8/31 利用人数：485人 内容：バスのこども運賃を1乗車50円 ・夏休み路線バス探検キャラバン 実施日：8/6 参加人数：71人 内容：小学生以下と保護者を対象に、路線バスの整備工場の見学や路線バスとの綱引き体験など ・1日フリー乗車券通年販売 販売開始：10/1～ 販売枚数：大人303枚・小人0枚 (H28.10～H29.3) 内容：市内バス路線において、1日限定で乗り放題が可能な乗車券を通年販売 ・待合空間改善 利用者の待合環境改善のため一部のバス停留所に寄贈されたベンチを設置	継続	継続	継続
		津島市	○公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進 市民等の活動支援及び公共施設利用の利便性の向上を図るため、津島市巡回バス「ふれあいバス」の運行をした。	継続	継続
	碧南市	くるくるバス（市内巡回バス）を4路線に分け、運賃無料で運行している。	継続	継続	
豊田市	効率的で利便性の高い公共交通の実現を目指すため、必要に応じて路線改編を行うとともに、新たなバス評価とそれに伴う地域バス支援を実施。	継続	効率的で利便性の高い公共交通の実現を目指すため、必要に応じて路線改編を行うとともに、バス評価とそれに伴う地域バス支援を実施。	効率的で利便性の高い公共交通の実現を目指すため、必要に応じて路線改編を行うとともに、バス評価とそれに伴う地域バス支援を実施。	

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
1 公共交通機関の整備及び維持・充実	西尾市	デマンド型乗合タクシー（いこまいカー）の運行事業委託	継続		継続	
		市街地循環バス（六万石ぐるりんバス）の運行事業委託	継続	市街地循環バス（いっちゃんバス）の運行事業委託（10月1日開始）	継続	
		○名鉄西尾・蒲郡線の利用促進 市民応援団に利用促進業務を委託。また、利用者数増進のため、団体・親子に対し運賃補助。（団体:延べ215団体、親子:延べ234組） ○鉄道施設維持管理費を負担	継続		継続	
	新城市	○公共交通機関の整備及び維持・充実・利用促進 市バス事業を実施	継続		継続	
		○公共交通機関の整備及び維持・充実・利用促進 高速乗合バス事業を実施（新城～藤が丘）	継続		継続	
	日進市	コミュニティバス（くるりんばす）の運行	継続	コミュニティバス（くるりんばす）の運行	継続	コミュニティバス（くるりんばす）の運行
	幸田町	○コミュニティバスの運用 5台のえこたんバスで町内を4路線に分け無料で運行。	継続		継続	
	名古屋高速道路公社	○道路の広域ネットワークの形成（名古屋高速道路の建設） ・名古屋西JCT 近畿自動車道伊勢線連絡路	継続		継続	
	NPO法人ボランティアネイバース	公共交通機関の利用促進（スタッフ通勤・社用時利用）	継続	公共交通機関の利用促進（スタッフ通勤・社用時利用）	継続	公共交通機関の利用促進（スタッフ通勤・社用時利用）
	瀬戸市	・瀬戸市コミュニティバス（8路線）の運行 ・バスのイベントの実施（10月23日、参加者150名） ・バスの乗り方教室の開催（10月26日、参加者75名）	継続	・（左記全て） ・菱野団地住民バスのバス運行社会実験を実施（7月～12月） ・デマンド型タクシーの運行社会実験を実施（7月～12月）	継続	・（左記全て） ・菱野団地住民バスの実証結果検証と課題対応 ・デマンド型タクシーの実証結果検証と課題対応
	刈谷市	○刈谷市公共施設連絡バスの運行 渋滞緩和や環境負荷低減等の観点から、市内公共施設等を結ぶ連絡バスを委託運行した。 ○バス停ベンチ等設置 依佐美中学校バス停に上屋、ベンチを設置した。	継続	○刈谷市公共施設連絡バスの運行 渋滞緩和や環境負荷低減等の観点から、市内公共施設等を結ぶ連絡バスを委託運行する。	継続	
	安城市	○あんくるバスの運行 11路線でコミュニティバスの運行を実施 ○あんくるタクシーの運行 3地区においてデマンドタクシーの運行を実施	継続		継続	
		安城市民であり、かつ、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者の市内循環バス（あんくるバス）及びデマンドタクシー利用の無料化を図る（H26.10.1～）	継続		継続	
	蒲郡市	「市民まるごと赤い電車応援団」を主体とした名鉄利用促進活動の実施 予算2,000千円	継続	「市民まるごと赤い電車応援団」を主体とした名鉄利用促進活動の実施 予算1,950千円	継続	
	犬山市	コミュニティバスの運行 5台8路線を曜日運行（12/29～1/4は除く）	継続	コミュニティバスの運行 5台8路線を曜日運行（12/29～1/4は除く）	継続	コミュニティバスの運行 運行は継続。（現在、路線再編を検討しており、台数・路線等については未定）
	常滑市	コミュニティバスの運行	継続		継続	
	小牧市	○こまき巡回バス（コミュニティバス）の運行 市内19コースにて毎日（12/31～1/3除く）運行	継続		継続	
稲沢市	○公共交通機関の整備及び維持・充実・利用促進 稲沢市コミュニティバスの運行 路線数 7路線、利用者数 156,314人	継続	○公共交通機関の整備及び維持・充実・利用促進 稲沢市コミュニティバスの運行 路線数 7路線、利用者数 166,576人	継続		
	○稲沢市コミュニティタクシー タクシー乗り場（4ヶ所）特定バス停留所（9ヶ所）の間をバス接続便として運行している。 利用者数 145人	継続	○稲沢市コミュニティタクシー タクシー乗り場（4ヶ所）特定バス停留所（9ヶ所）の間をバス接続便として運行している。 利用者数 82人	継続		

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
1 公共交通機関の整備及び維持・充実	東海市	○75歳以上の市内循環バス運賃無料化 75歳以上の市内在住者に専用バスケースを配布。後期高齢者被保険者証とセットで使用することで市内循環バスの運賃を無料化した	継続		継続	
		○聞き取り調査及び乗降調査の実施 市内循環バスのダイヤ・ルートの見直しに向け、職員が路線バスに乗り込み、聞き取り調査及び乗降調査を実施	継続		継続	
		○公共交通機関の利用促進 将来的なバス利用者育成を目的として、市内小学生向けに「バスの乗り方教室」を実施。	継続		継続	
	大府市	○公共交通機関の維持、利用促進 循環バス「ふれあいバス」の運行	継続		継続	
	知多市	○公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進 ・知多市コミュニティ交通の運行事業者に対する運行維持を目的とした負担金の支払い。 ・バス利用促進物品の作成及び配布。 ・10月1日から運賃の引下げ及び車両更新による利用の促進。	継続	・運賃値下げによる利用者数等の検証	継続	
	知立市	コミュニティバスの運行	継続		継続	
	尾張旭市	○公共交通機関の整備及び維持・充実 市営バス「あさび一号」の運行内容を変更し、日祝日の運行や平日の増便を実施。 路線数：2（西ルート・東ルート） 現行便数：平日9便、土休日5便 利用者数：200、168人	継続		継続	
	岩倉市	デマンド型乗合タクシーの運行（2台） 平成28年度末時点登録者数 1,866人 平成28年度利用者数 7,505人	継続		継続	
	豊明市	○公共交通機関の整備及び維持 低公害車であるコミュニティバス（ひまわりバス）を3台運行。	継続		継続	
	田原市	○田原市コミュニティバスの運行 公共交通空白地域の解消及び市街地中心部の活性化のため、市内8路線の運行実施	継続	○田原市コミュニティバスの運行 公共交通空白地域の解消及び市街地中心部の活性化のため、市内8路線の運行実施	継続	
	弥富市	コミュニティバスの運行	継続		継続	
	みよし市	コミュニティバス（さんさんバス）の運行	継続		継続	
	東郷町	コミュニティバスの運行 （4路線、177,210人利用）	継続		継続	
	大口町	コミュニティバス運行事業	継続	コミュニティバス運行事業	継続	コミュニティバス運行事業
	飛島村	公共交通機関の維持 飛島バス（蟹江線・名港線）の運行 乗合タクシーによる海南病院と村バス停間の運行	継続		継続	
	阿久比町	○公共交通機関の利用促進 循環バスの運行	継続		継続	
	東浦町	バスロケーションシステムの導入 バスギャラリーの開催 バスの乗り方教室開催（3月）	継続	バスギャラリーの開催 バスの乗り方教室開催 公共交通検索サービスの導入（予定）	継続	バスギャラリーの開催 バスの乗り方教室開催
	美浜町	コミュニティバスの運行	継続		継続	
	武豊町	○コミュニティバスの運行	継続		継続	

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
2 乗合バス事業者等への補助	豊橋市	○路線維持費補助金 路線バスへの支援	継続		継続	
		○乗合バス 乗合バスへの支援	継続		継続	
	岡崎市	○不採算バス路線の確保維持 不採算バス路線を確保することで、地域住民の生活交通の確保維持を行った。	継続		継続	
	一宮市	バス路線維持対策補助金	継続		継続	
	半田市	○乗合バス事業者等への補助 ※市内を運行する路線バス会社に補助金	継続		継続	
	春日井市	廃止代替路線補助 名鉄バスの運行する玉野台循環線に欠損が生じた際に補助金を交付	継続			未定
	豊川市	地方バス路線運行対策費補助金を広域バス路線の運行事業者である豊鉄バス（新豊線・豊川線）へ交付 補助金額 ・豊鉄バス：19,073,000円	継続		継続	
	豊田市	対象となる市内民間路線への欠損額補助を実施	継続	対象となる市内民間路線への欠損額補助を実施予定	継続	対象となる市内民間路線への欠損額補助を実施予定
	西尾市	乗合バス事業者（ふれんどバス）に対する補助	継続		継続	
	瀬戸市	・市内基幹バス運行事業者（名鉄バス）へ運行経費の補助（9326万円）	継続		継続	
	刈谷市	○乗合バス事業者への路線維持費補助 名鉄バスが運行する刈谷・愛数大線維持するため、維持費の補助を実施。	継続		継続	
	安城市	○路線バス事業者への補助 市内を運行する路線バス2路線に対し、運行継続のための補助を実施	継続		継続	
	蒲郡市	形原地区支線バス「あじさいくるりんバス」の運行補助 予算4,500千円	継続	形原地区支線バス「あじさいくるりんバス」の運行補助 予算4,200千円	継続	
		特定区画バス運行補助 予算4,000万円	継続		継続	
	江南市	○乗合バス事業者への補助 5路線	継続		継続	
	小牧市	○乗合バス事業者への補助 市民の日常生活に必要な交通手段を確保するため、運行経費を補助 継続：間内・岩倉線（名鉄バス）	継続		継続	
	知多市	○乗合バス事業者等への補助 ・市内路線バス3路線（岡田線・日長団地線・佐布里線）の運行事業者に対する運行維持を目的とした補助金の交付。	継続		継続	
	高浜市	乗合バス事業者等への補助 市内4路線を2台の車両で、隣接市1施設へ1台の車両で循環運行。補助件数2件。	継続		継続	
	田原市	○地方バス路線支援 生活交通路線を維持するため、豊鉄バス伊良湖本線及び支線運行を支援	継続	○地方バス路線支援 生活交通路線を維持するため、豊鉄バス伊良湖本線及び支線運行を支援	継続	
	東郷町	乗合バス事業者（名鉄バス）への補助 （1路線、1件）	継続		継続	
南知多町	乗り合いバス（海っこバス）を委託し運行している。	継続		継続		
愛知県	乗合バス事業者等への補助 三河山間地域における生活基盤として重要な役割を果たしている過疎バス及び過疎特定バス路線を維持・確保するため、欠損額等について助成する。 乗合バス 4路線 市町村営バス 33路線	継続	乗合バス事業者等への補助 三河山間地域における生活基盤として重要な役割を果たしている過疎バス及び過疎特定バス路線を維持・確保するため、欠損額等について助成する。 乗合バス 4路線（予定） 市町村営バス 33路線（予定）	継続	乗合バス事業者等への補助 三河山間地域における生活基盤として重要な役割を果たしている過疎バス及び過疎特定バス路線を維持・確保するため、欠損額等について助成する。 乗合バス 4路線（予定） 市町村営バス 33路線（予定）	
	○乗合バス事業者に対する助成措置 地域住民の生活に必要な旅客自動車輸送の確保のために維持・確保が必要と認められた広域的・幹線的なバス路線（生活交通路線）を運行する乗合バス事業者に対して、運行の維持等を図るため補助金を交付。（5事業者へ交付）	継続		継続		

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
3 交通結節点の改善	春日井市	JR春日井駅において、自由通路の整備及び駅前広場の再整備 名鉄味美駅において駅東側からのアクセス利便性確保と駅前広場整備	継続		継続	名鉄味美駅において、駅東側からのアクセス利便性確保と駅前広場整備
	豊田市	豊田市駅バス乗降口整備の予備設計及び関係機関協議	継続	豊田市駅バス乗降口整備の予備設計及び関係機関協議	継続	豊田市駅バス乗降口整備の詳細設計及び関係機関協議
	新城市		新規	○交通結節点の改善 JR新城駅において駅前広場整備を実施（平成32年度完了予定）	継続	
	刈谷市	○バスロケーションシステム導入 ○モニター設置 刈谷駅南口バス停、刈谷駅北口バス停、 刈谷豊田総合病院バス停にモニターを設置した。	継続	○モニター設置 ひまわりバス停、市役所バス停、 刈谷ハイウェイオアシスバス停にモニターを設置する。	継続	○モニター設置 東刈谷駅北口バス停、野田新町駅北口バス停にモニターを設置する。
	東海市	○交通結節点の改善 名鉄南加木屋駅において、駅前広場及びアクセスするための市道を整備	継続		継続	
4 パーク・アンド・ライド駐車場の整備	名古屋市	○パークアンドライド駐車場の整備及び利用促進 ・認定制度による民間駐車場の有効活用 ・ウェブサイトや情報誌等による認定パークアンドライド駐車場の広報	継続		継続	
	半田市	○パーク・アンド・ライド駐車場の管理・運営 ※半田市雁宿駐車場	継続		継続	
	碧南市	市内2ヶ所のパークアンドライドを維持管理している。 収容台数：157台（89台、68台）	継続		継続	
	豊田市	愛知環状鉄道駅沿いに5駐車場（貝津駅、末野原駅、四郷駅、保見駅、八草駅）を引き続き運用	継続	愛知環状鉄道駅沿いに5駐車場（貝津駅、末野原駅、四郷駅、保見駅、八草駅）を引き続き運用	継続	愛知環状鉄道駅沿いに5駐車場（貝津駅、末野原駅、四郷駅、保見駅、八草駅）を引き続き運用
	蒲郡市		新規	名鉄形原駅前駐車場（旧西部市民センター）整備	継続	
	大府市	市営駐車場の運営、啓発	継続		継続	
	田原市	○田原駅南公共駐車場の管理・運営 パーク&ライド駐車場として位置付けられている田原駅南公共駐車場の管理・運営	継続	○田原駅南公共駐車場の管理・運営 パーク&ライド駐車場として位置付けられている田原駅南公共駐車場の管理・運営	継続	
	東浦町	パーク&ライド駐車場の利用促進 イオンモール東浦の駐車場の一部をパーク&ライド駐車場として活用（共用台数30台で3台契約）	継続	パーク&ライド駐車場の利用促進 イオンモール東浦の駐車場の一部をパーク&ライド駐車場として活用	継続	パーク&ライド駐車場の利用促進 イオンモール東浦の駐車場の一部に加え、駅周辺駐車場をパーク&ライド駐車場として活用し、利用場所を増やすことで促進を図る。
	愛知県	○桃花台線旧車両基地用地の一部をパーク&ライド駐車場として活用 中央道高速バスの停留所に隣接する桃花台線旧車両基地用地（愛知県と小牧市の共有地）の一部を駐車場事業者へ貸付し、パーク&ライド駐車場として活用。	継続		継続	
		○愛・地球博記念公園駅北側パーク&ライド駐車場の運営（パーク&ライド推進会議で運営） リノモの利用促進及び車から公共交通（リノモ）への転換を図るため、愛・地球博記念公園駅北側においてパーク&ライド駐車場を運営	継続		継続	
5 バリアフリー化の促進	中部運輸局	「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づき、ハード面では施設や車両等のバリアフリー化の補助事業による推進、ソフト面では誰もが自然に快くサポートできる「心のバリアフリー」の啓発事業により、公共交通機関の利便性及び安全性の向上に取り組む。	継続			
	名古屋市	○車両・施設の整備改良等 ・名城線・名港線への可動式ホーム柵の設置（平成32年度完成予定） ・名城線・名港線への可動式ホーム柵の設置に向け、定位置停止のための車両改造等30両（5編成） ・車いすスペースが設置された地下鉄車両の導入 鶴舞線車両2編成 135編成中105編成（77.8%）	継続	・名城線・名港線への可動式ホーム柵の設置（平成32年度完成予定） ・名城線・名港線への可動式ホーム柵の設置に向け、定位置停止等のための車両改造54両（9編成） ・車いすスペースが設置された地下鉄車両の導入 鶴舞線車両2編成 135編成中107編成（79.3%）	継続	・名城線・名港線への可動式ホーム柵の設置（平成32年度完成予定） ・名城線・名港線への可動式ホーム柵の設置に向け、定位置停止のための車両改造等54両（9編成）（平成30年度） ・車いすスペースが設置された地下鉄車両の導入 鶴舞線車両1編成（平成30年度） 135編成中108編成（80.0%）
		○施設の整備 ・改札内での乗換えエレベーターの整備 継続2駅（名古屋駅、丸の内駅）	継続	・改札内での乗換えエレベーターの整備 継続2駅（名古屋駅、丸の内駅） 新規1駅（栄駅）	継続	・改札内での乗換えエレベーターの整備 継続3駅（名古屋駅、丸の内駅、栄駅）
		○地下鉄駅施設の整備 ・ベビーチェア（一般トイレ内）の整備 新規整備3駅（吹上駅、御器所駅、瑞穂運動場西駅） 全87駅中83駅整備完了	継続	・ベビーチェア（一般トイレ内）の整備 新規整備4駅（桜本町駅、鶴里駅、野並駅、本郷駅） 全87駅中87駅整備完了（29年度末）	継続	終了
		○車内案内表示装置の設置 地下鉄車両における車内案内表示装置の設置 鶴舞線車両2編成 135編成中126編成（93.3%）	継続	地下鉄車両における車内案内表示装置の設置 鶴舞線車両2編成 135編成中128編成（94.8%）	継続	地下鉄車両における車内案内表示装置の設置 鶴舞線車両1編成（平成30年度） 135編成中129編成（95.6%）
○ノンステップバスの導入 35両導入（20両廃車） 1,012両中1,012両（導入率100%）	終了	・バス車両更新においては引続きノンステップバスとする。	終了	・バス車両更新においては引続きノンステップバスとする。		

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）	平成30年度以降に実施予定の取組
5 バリアフリー化の促進	岡崎市		新規 ○バリアフリー化の促進 JR西岡崎駅バリアフリー化事業について、補助及び駐輪場の整備を行う。	継続 H31年度 JR西岡崎駅エレベーター工事完了予定 H32年度 JR西岡崎駅前広場整備完了予定
	春日井市	JR春日井駅において、自由通路の整備及び駅前広場の再整備 名鉄味美駅において、駅東側からのアクセス利便性確保と駅前広場整備	継続	継続 名鉄味美駅において、駅東側からのアクセス利便性確保と駅前広場整備
	豊田市	基幹バスは全車対応済み。地域バスは、車両更新に合わせて順次更新	継続	継続 基幹バスは全車対応済み。地域バスは、車両更新に合わせて順次更新
	瀬戸市	・愛知環状鉄道山口駅にエレベーターを設置	終了	終了
	刈谷市	○駅舎改修 高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づき、JR逢妻駅の駅舎にエレベーターを設置し、バリアフリー化を促進した。	終了	
	小牧市		新規 ○鉄道駅におけるエレベーター設置 名鉄小牧線小牧口駅、小牧原駅におけるエレベーター設置予定	終了
	東海市	○バリアフリー化の促進 歩道の段差解消を進め、バリアフリー化の推進を図る	継続	継続
	尾張旭市		新規 ○バリアフリー化の促進 ・名鉄瀬戸線旭前駅の北口駅舎整備及び既存駅施設のバリアフリー化整備を実施	終了
	南知多町	町が委託している乗り合いバス（海っこバス）において、ノンステップバスが採用されている。	継続	継続
6 利用者のニーズにあった運賃制度の導入等	名古屋市	○「ドニチエコきっぷ」の発売 平成18年4月より、土日休日、環境保全の日（毎月8日）及び土日休日ダイヤ特別運行日専用の市バス・地下鉄一日乗車券を、通常の市バス・地下鉄の一日乗車券よりも安価な600円で発売	継続	継続
	東海市			新規 ○市民向けアンケート調査の実施 これまでの聞き取り調査及び乗降調査に加え、循環バスを含む公共交通機関の利用についてアンケートを実施する予定
	南知多町	町が委託している乗り合いバス（海っこバス）において、定期券、回数券、一日券を販売している。 5路線 年間利用者135,176人（H28実績）	継続	継続

(3) 自動車利用方法の改善、多様化

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）	平成30年度以降に実施予定の取組	
1 次世代自動車等先進エコカーによるカーシェアリングの推進	豊田市	超小型電気自動車のシェアリング事業を実施（約50ステーション、コムス約100台規模で実施。（事業名：ハーモ））	継続	超小型電気自動車のシェアリング事業を実施（約50ステーション、コムス約100台規模で実施。（事業名：ハーモ））	継続
	安城市	○き〜☆モビ事業 「安城市創着省エネルギー・プロジェクト推進協議会」による、乗り捨て型カーシェアリング事業。 (平成28年度利用人数：2470人)	継続		継続
2 用途に合った次世代自動車等先進エコカーの利用促進	東栄町			新規 用途に合った次世代自動車等先進エコカーの利用促進 ・V2L等と組み合わせて、防災等に役立てていく	
3 自動車利用の抑制・平準化	豊橋市	○電動アシスト自転車購入補助金 電動アシスト自転車購入者への補助（645台）	継続		継続
		電動アシスト自転車の公用利用（10台）	継続		継続
	春日井市	地球環境に優しい行動を積極的に行う日として、毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、自転車や公共交通機関の利用を啓発	継続		継続
	(一社) 中部経済連合会	○実証試験の検討 刈谷市内の渋滞緩和を旨とした実証試験の実施に向け、計画立案と実施体制の立ち上げを実施	継続	○実証試験の実施 今年度中の実証試験実施を旨とし、詳細検討中	継続 ○実証試験結果の分析・評価 実証試験結果を分析・評価し、報告
	NPO法人中部リサイクル運動市民の会	所有していた自動車は廃車にし、カーシェアリングの利用を継続中。 社員に対する自動車通勤の原則禁止の通達をし、継続中。	継続 継続		
	安城市	総合運動公園内の体育施設にて開催される大会の事前打合せにおいて、乗り合わせによる来場を参加者へ周知するよう主催者に要請した。	継続		継続
	大府市	○ノーカーデーの実施 原則、毎月第1金曜日をノーカーデーとし、通勤に公共交通機関、自転車等の自家用車以外での通勤の協力を呼び掛けている。	継続		継続
	岩倉市	ノーカーデー（毎月第1水曜日）を実施し、公用車の利用を自粛する。	継続		継続
	豊明市	○「ノーカー出張の日」の推進 毎週木曜日をノーカー出張の日とし、職員に対して自動車利用の抑制を呼びかけ。	継続		継続
	田原市	○レンタサイクル事業の実施 田原市中心市街地にレンタサイクルステーションを5カ所設置し、31台の自転車を無料で貸し出し	継続	○レンタサイクル事業の実施 田原市中心市街地にレンタサイクルステーションを5カ所設置し、31台の自転車を無料で貸し出し	継続
	東郷町	ノーカーデーの実施 毎年12月第1水曜日に愛知県が実施する「県内一斉エコ通勤デー」に賛同し、通勤に公共交通機関、自転車等の自家用車以外での通勤	継続		継続
	4 エコ通勤・エコ通学の促進	中部運輸局	「エコ通勤優良事業所認証制度」の普及促進	継続	
豊橋市		市役所職員においてエコ通勤の推奨	継続		継続
岡崎市		○第5回岡崎版エコポイント抽選（予算額1,014千円）	終了		
		○エコドライブコンテスト（11月27日開催10名参加）	継続	○エコドライブコンテスト（11月26日開催予定）	継続
一宮市		○ノーカーデーの実施 毎月第1水曜日をノーカーデーとし、職員に自家用車での通勤を控え、徒歩や自転車、公共交通機関での通勤を促す。	継続		継続
半田市		○エコ通勤の推奨 職員へエコ通勤（自転車、徒歩）の推奨	継続		継続
春日井市		自動車利用の抑制及びエコドライブの推進など、環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施しているかすがいエコオフィス認定事業所において、従業員へのエコ通勤を励行	継続		継続
碧南市		職員へ、毎月エコ通勤週間を設けている。	継続		継続
豊田市		「豊田エコ交通をすすめる会」を年2回開催及びワーキングチームによるモビリティマネジメントを実施。また、小学校向けにエコ交通出前教室を計8校実施した。	継続	「豊田エコ交通をすすめる会」のワーキングチームによるモビリティマネジメントを実施。また、小学校向けに豊田エコ交通出前教室について、7校実施予定。（9月時点）	継続 「豊田エコ交通をすすめる会」のワーキングチームによるモビリティマネジメントを実施。また、小学校向けに豊田エコ交通出前教室について、7校実施予定。（9月時点）

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
4 エコ通勤・エコ通学の促進	西尾市	西尾市役所として毎月エコ通勤週間を定めて、職員の公共交通機関や自転車、徒歩、自動車の相乗りなどによる通勤を推進している。	継続		継続	
	日進市	エコモビ通勤の実施（職員が月2回ノーカーデー通勤の実施、毎月第一水曜日はエコモビの日に合わせて積極的に実施するように推進）	継続	エコモビ通勤の実施（職員が月2回ノーカーデー通勤の実施、毎月第一水曜日はエコモビの日に合わせて積極的に実施するように推進）	継続	エコモビ通勤の実施（職員が月2回ノーカーデー通勤の実施、毎月第一水曜日はエコモビの日に合わせて積極的に実施するように推進）
	幸田町	○エコドライブの啓発 職員を対象にしたチェックシートで啓発を年8回実施。	継続		継続	
	知立市	毎月1回、職員のノーマイカーデーとしてエコ通勤を促進	継続		継続	
	田原市	○エコ通勤デーの実施 毎月第3水曜日をエコ通勤デーと定め、市職員に対して自転車や徒歩、公共交通機関の利用等を推進	継続	○エコ通勤デーの実施 毎月第3水曜日をエコ通勤デーと定め、市職員に対して自転車や徒歩、公共交通機関の利用等を推進	継続	
	清須市	ノーマイカーデーの推進（毎月10日、20日、30日）	継続		継続	
	弥富市	職員ノーマイカーデーの取り組み 毎月第一水曜日 通勤距離5キロ以下の者 毎週水曜日 通勤距離2キロ以下の者	継続		継続	
	あま市		新規	毎月、ノーマイカー通勤デーを実施	継続	ノーマイカー通勤を毎月行い、温室効果ガス削減の意識を高める
	蟹江町	毎月10日を「ノーカーデー」として、自転車等での通勤を励行する。	継続		継続	
	阿久比町	○ノーマイカーデーの実施 毎月第1水曜日をノーマイカーデーとしてエコ通勤を推進	継続		継続	
	東浦町	ノーマイカーデーの実施	継続	ノーマイカーデーの実施	継続	ノーマイカーデーの実施
5 EVを活用したスマートグリッドの検討	豊田市	エコフルタウンでの導入効果のPR	継続	エコフルタウンでの導入効果のPR	継続	引き続きPRを予定
7 「エコ モビリティ ライフ」の推進	中部地方環境事務所	・スマート・ムーブ普及啓発事業 地球温暖化防止活動の一環として、“「移動」を「エコ」に。”をテーマに、よりCO2排出量の少ない「移動」を推進する「smart move（スマート・ムーブ）」キャンペーンを東海エリアで実施、スマート・ムーブへの賛同「宣言」を獲得	継続		継続	
	豊橋市	ええじゃないかカーフリーデー2016 9/17開催 モビリティウィーク 9/12～23	継続	ええじゃないかカーフリーデー2017 9/24開催 モビリティウィーク9/16～22	継続	
	津島市	○「エコモビリティライフ」の推進 「エコモビ」を推進するために、毎月第3水曜日を「エコモビの日」をして設定。「自家用車」の使用をできるだけ避け、徒歩や自転車、公共交通機関での通勤を実践していただくように推進した。	継続		継続	
	日進市	エコモビリティライフの推進（啓発チラシの設置）	継続	エコモビリティライフの推進（啓発チラシの設置）	継続	エコモビリティライフの推進（啓発チラシの設置）
	(公社)愛知県バス協会	エコモビリティライフの推進	継続		継続	
	(一社)中部経済連合会	○エコモビリティライフの推進 エコモビリティ推進協議会のメンバーとして会員企業への周知を図り、エコモビリティライフを推進	継続		継続	
	NPO法人ボランティアネイバーズ			エコモビリティライフの推進 ・あいちエコモビリティ推進協議会委員として啓発活動	継続	エコモビリティライフの推進 ・あいちエコモビリティ推進協議会委員として啓発活動
	瀬戸市	・庁内の掲示板に職員の啓発 ・市が開催するイベント等に「エコ モビリティライフ」をPRするブースの設置	継続		継続	
	刈谷市	○「エコ・モビリティライフ」の推進 わんさか祭りにおいてブースを設置し、「エコ・モビリティライフ」についてPRを実施した。 (8月20日)	継続	○「エコ・モビリティライフ」の推進 わんさか祭りにおいてブースを設置し、「エコ・モビリティライフ」についてPRを実施した。 (8月19日)	終了	
	蒲郡市	○「エコモビリティライフ」の推進 エコモビの日及び前後2日間にエコモビを実践した職員数を毎月集計し、実践率を職員向けに公表している。	継続		継続	
	小牧市	○「エコモビリティライフ」の推進 市ホームページにおけるエコモビリティ推進記事の掲載や、市役所窓口における啓発チラシの設置	継続		継続	

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）	平成30年度以降に実施予定の取組
7 「エコ モビリティ ライフ」の推進	尾張旭市	○エコモビリティライフの推進 毎月第1水曜日を「エコモビの日」とし、職員に環境にやさしい交通行動を励行	継続	継続
	豊明市	○「エコ・モビリティ・ライフ」の推進 庁内イントラにて呼びかけ。	継続	継続
	北名古屋市	○エコモビリティライフの推進 市役所職員に対し、毎月第1水曜日に自転車や徒歩、公共交通機関を使用して通勤するよう、掲示板にて周知し、実施を求めた。	継続	継続
	東郷町	環境イベントで「エコ モビリティ ライフ」を推進 (町環境イベントでのブース出展、チラシ配布)	継続	継続
	愛知県	・県内事業所が、一定期間に「エコ通勤」を中心とした「エコモビ」を実践する「エコモビ実践キャンペーン」を実施 ・「エコモビ」推進の取組や「エコモビ」活動を行っている団体を募集・表彰する「エコモビ推進表彰」を実施 ・11月14日に「エコ モビリティ ライフ 県民の集い2016」を開催 ・県内各地でエコモビ普及啓発活動を実施 (「あいちエコモビリティライフ推進協議会」(事務局：交通対策課)の活動)	継続	・県内事業所が、一定期間に「エコ通勤」を中心とした「エコモビ」を実践する「エコモビ実践キャンペーン」を実施 ・「エコモビ」推進の取組や「エコモビ」活動を行っている団体を募集・表彰する「エコモビ推進表彰」を実施 ・「エコ モビリティ ライフ 県民の集い2017」を開催 ・県内各地でエコモビ普及啓発活動を実施 (「あいちエコモビリティライフ推進協議会」(事務局：交通対策課)の活動)

(4) 自転車等の利用促進

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
1 歩道、自転車通行帯、自転車駐輪場の整備等	中部地方整備局	【名国】歩道の整備 国道153号 豊田市力石町～豊田市勘八町地内において、歩道を整備（L=1.6km）	継続		終了	
		【名国】歩道の整備 国道155号 瀬戸市山口町地内において、歩道を整備（L=0.6km）	継続		継続	
		【名国】歩道の整備 国道22号 名古屋市区堀越地内において、歩道の拡幅整備（L=0.3km）	継続		終了	
		【名国】自転車通行空間の整備 国道22号 名古屋市中区錦～名古屋市区菊井地内等において、自転車通行空間の整備検討	継続		継続	
	名古屋市	○自転車走行空間の整備：整備道路延長約2.0km（市道西蔵下塩町はじめ4路線） ○自転車駐輪場の整備：有料自転車駐輪場整備1駅（六番町駅）	継続	○自転車走行空間の整備：整備道路延長約0.7km（市道西蔵下輪ノ内町線0.7km） ○自転車駐輪場の整備：有料自転車駐輪場整備1駅（有松駅）	継続	○自転車走行空間の整備：整備道路延長約0.6km（市道則武新町三丁目第1号線） ○自転車駐輪場の整備：有料自転車駐輪場整備1駅（伏屋駅）
	豊橋市	「豊橋市自転車活用推進計画」に定められた優先整備路線について自転車通行空間を整備する 施工延長 L=850m	継続	「豊橋市自転車活用推進計画」に定められた優先整備路線について自転車通行空間を整備する 施工延長 L=2050m	継続	「豊橋市自転車活用推進計画」に定められた優先整備路線について自転車通行空間を整備する
	一宮市	木曾川堤駅西駐輪場の整備	終了			
	半田市	○歩道整備 ※市道大池21号線において歩道の設置	継続		継続	
					新規	○平成30年度末：自転車ネットワーク計画策定予定 ○平成31年度以降：自転車通行空間を整備予定 （整備延長・整備形態などは未定）
	春日井市	自転車駐輪場について 利用しやすい環境をつくるため、自転車の整備及び適切な維持管理を実施している。	継続		継続	自転車駐輪場の屋根については雨漏りしているので、補修する。
		市街地における歩道の整備	継続		継続	
		自転車道や歩行者道としてのふれあい緑道の整備	継続		継続	
		自転車駐輪場の整備 JR神領駅において、自転車駐輪場を整備	継続	自転車駐輪場の整備（予定） JR神領駅において、自転車駐輪場を整備		未定
	豊川市	○歩道の整備（市道穂ノ原六角線） 豊川市大崎町地内における歩道整備（L=210m） 用地取得及び物件補償を実施。	継続	用地取得及び物件補償	継続	道路拡幅工事（H30年度～H31年度）
		○歩道の整備（市道足山田大木線） 豊川市大木町地内における歩道整備（L=630m） 用地取得及び物件補償を実施。	継続	用地取得及び物件補償 道路拡幅工事（H29年度～31年度）	継続	
		○歩道の整備（市道西方御津紡線） 豊川市御津町地内における歩道整備（L=110m） 用地取得及び物件補償を実施。	継続		継続	用地取得（H30年度以降） 歩道整備（※県河川改修との調整による）
		○歩道の整備（都市計画道路上宿樽井線（市田工区・市田野口工区）） 豊川市市田町地内における歩道整備（市田工区L=210m・市田野口工区L=60m） 道路拡幅工事を実施（市田工区事業完了） 測量設計を実施（市田野口工区）	継続	用地取得及び物件補償（H29年度～H30年度）	継続	道路拡幅工事（H31年度）
		○歩道の整備（都市計画道路松本入浜線） 豊川市御津町地内における歩道整備（L=150m） 道路拡幅工事を実施（事業完了）	終了			
		○歩道の整備（都市計画道路桜町千両線） 豊川市穂ノ原地内における歩道整備（L=1200m） 測量設計を実施	継続	事業認可	継続	用地取得及び物件補償（H30年度～H32年度） 歩道整備工事（H31年度～H33年度）

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）	平成30年度以降に実施予定の取組
1 歩道、自転車通行帯、自転車駐輪場の整備等	瀬戸市	・菱野中線において、歩道通行帯を整備 ・效範山手線において、歩道通行帯を整備	継続 ・菱野中線において、歩道通行帯を整備 ・山口出来町線において、歩道通行帯を整備	終了
	刈谷市	○歩道の整備 道路新設改良工事 ・市道01-3号線、西境町地内、L=115m ○駐輪場の整備 今川町地内において駐輪場整備 富士松駅 152台	終了	
	刈谷市	○バリアフリー化の促進 歩道の段差解消及び連続照明による照度確保、視覚障害者誘導用ブロックの設置 ・市道01-25号線、東陽町地内、L=38m ・市道2-496号線、銀座地内、L=120m ○歩道の整備 道路新設改良工事 ・市道2-496号線、銀座地内、L=120m 用地取得 212.34㎡ ・市道01-4号線、西境町地内、L=124m	継続 ○バリアフリー化の促進 歩道の段差解消及び連続照明による照度確保、視覚障害者誘導用ブロックの設置 ・市道2-496号線、銀座地内、L=107m ○歩道の整備 道路新設改良工事 ・市道2-496号線、銀座地内、L=107m ・市道01-4号線、西境町地内、L=100m	継続 ○バリアフリー化の促進 歩道の段差解消及び連続照明による照度確保、視覚障害者誘導用ブロックの設置 ・市道01-25号線、東陽町地内、L=38m ・市道2-496号線、銀座地内、L=175m ○歩道の整備 道路新設改良工事 ・市道2-496号線、銀座地内、L=175m ・市道01-4号線、西境町地内、L=200m
	刈谷市	○バリアフリー化の促進 歩道の段差解消及び連続照明による照度確保、視覚障害者誘導用ブロックの設置 ・市道01-36号線、住吉町地内、L=140m	継続 ○バリアフリー化の促進 歩道の段差解消及び連続照明による照度確保、視覚障害者誘導用ブロックの設置 ・市道01-36号線、住吉町地内、L=153m	継続 ○バリアフリー化の促進 歩道の段差解消及び連続照明による照度確保、視覚障害者誘導用ブロックの設置 ・市道01-36号線、住吉町地内、L=804m
	安城市	○自転車走行空間の整備 ブルーラインによる自転車走行空間の整備を実施 (市道安城三河安城線 1,100m)	継続	継続
	蒲都市	通学路内のカラー舗装整備	継続	継続
	江南市	○歩道の整備 都市計画道路、布袋本町通線・江南市布袋下山町において、歩道を整備 (L=0.10Km) ○市の無料自転車等駐車場の管理 駐車台数 2,737台/1日	継続 ○歩道の整備 都市計画道路、布袋本町通線・江南市布袋下山町において、歩道を整備 (L=0.12Km)	新規 ○歩道の整備 市道北部第117号線 江南市小脇町・小秋町地内において歩道を整備 (L=0.2Km)
	小牧市	市道野口大草線外歩道整備を実施	継続 市道小木西1丁目11号線外歩道整備を実施予定	継続 市道北外山小木線外歩道整備を実施予定
	稲沢市	歩道、自転車通行帯、自転車駐輪場の整備等	終了	
	東海市	○歩道、自動車通行帯の整備 市道横須賀加木屋線において歩道整備を実施	継続	継続
			新規 ○歩道、自動車通行帯の整備 市道中大廻間線始め5路線において歩道整備を実施	継続
				新規 ○歩道、自動車通行帯の整備 木田北部土地改良において歩道整備を実施
				新規 ○歩道、自動車通行帯の整備 市道三ツ池線始め8路線の歩道整備を実施
				新規 ○歩道、自動車通行帯の整備 市道東扇廻間線において歩道整備を実施
				新規 ○歩道、自動車通行帯の整備 市道名和養父線において歩道整備を実施
			新規 ○歩道、自動車通行帯の整備 横須賀駅西通線街路整備において歩道整備を実施	
大府市	○利用しやすい環境をつくるため、自転車の整理の徹底及び適切な維持管理を実施 ○歩道、安全柵等の整備 ○緑道の整備	継続	継続 ○歩道、自動車通行帯の整備 向山南北線始め10路線において歩道整備を実施	

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）	平成30年度以降に実施予定の取組
1 歩道、自転車通行帯、自転車駐輪場の整備等	知多市	名鉄河和線巽が丘駅付近において歩道を整備（L=24m）	継続 市道70011号線において歩道を整備（L=130m）	継続 市道20479号線において歩道を整備（L=400m）
	豊明市	通学路全域で歩道の一部を緑色に塗り、児童のための通学路として整備。	継続	継続
	扶桑町	歩道の整備 町道江南一扶桑線（L=200m）	継続 歩道の整備 町道江南一扶桑線（L=200m）	継続
			新規 歩道の整備 町道南山名高雄線（L=100m）	継続
	東浦町	歩道の整備 新田福住線（L=250m） 町道石浜376号線（L=18m）	終了 歩道の整備 町道石浜376号線（L=18m）	
	愛知県	○歩道、自転車歩行者道等の整備 一般県道浅井清須線・一宮市西大海道始め105箇所において、歩道、自転車歩行者道等を整備	継続 ○歩道、自転車歩行者道等の整備 一般県道浅井清須線・一宮市西大海道始め95箇所において、歩道、自転車歩行者道等を整備	継続 ○歩道、自転車歩行者道等の整備 一般県道浅井清須線・一宮市西大海道始め109箇所において、歩道、自転車歩行者道等を整備
2 自転車利用の促進	中部地方環境事務所	・スマートバイク・イニシアチブの展開 （人と環境にやさしい自転車の利用を促進して持続可能な社会づくりを目指すコンセプト、またその施策パッケージ） ・ウェブサイト等による情報発信	継続	継続
	一宮市			新規 ○平成31年度以降：自転車ネットワーク計画に掲げる自転車利用促進のための取組みを実施予定
	半田市	○公用自転車の活用	継続	継続
	春日井市	地球環境に優しい行動を積極的に行う日として、毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、自転車や公共交通機関の利用を啓発	継続	継続
		自動車利用の抑制及びエコドライブの推進など、環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施しているかすがいエコオフィス認定事業所において、従業員へのエコ通勤を励行	継続	継続
	豊田市	スポーツ自転車体験会及び産業フェスタにて子ども向け自転車体験を実施。	継続 産業フェスタにて子ども向け自転車体験を実施。	継続 産業フェスタにて子ども向け自転車体験を実施。
	幸田町	○放置自転車の再利用 放置自転車や粗大ごみで出された自転車を整備し公用自転車として使用。 5台	継続	継続
	NPO法人中部リサイクル運動市民の会	社員に対する自転車通勤に関する取り決めを作成し、運用を継続中。	継続	
	NPO法人ボランティアリーネイバース	自転車利用の促進（スタッフ通勤・社用利用）	継続 自転車利用の促進（スタッフ通勤・社用利用）	継続 自転車利用の促進（スタッフ通勤・社用利用）
	安城市	○自転車購入及びT Sマーク付帯保険に対する補助 （自転車購入補助45件、自転車安全整備費補助207件） ○自転車啓発イベントの実施 ○子ども自転車教室の開催（1回）	継続	継続
	蒲郡市	電動アシスト自転車購入費補助金を交付（25件分）	継続 電動アシスト自転車購入費補助金を交付（35件分）	継続
	大山市	職員に対し、近場への移動で市保有自転車の利用を促す。	継続 職員に対し、近場への移動で市保有自転車の利用を促す。	継続 職員に対し、近場への移動で市保有自転車の利用を促す。
	常滑市	「地球温暖化防止月間」・「大気汚染防止推進月間」における啓発の一環として、市広報誌で自転車利用の促進を推奨	継続	継続
	大府市	「地球温暖化防止月間」・「大気汚染防止推進月間」における啓発の一環で、広報、ホームページに掲載する。	継続	継続
	蟹江町	電動自転車を公用車として使用する。 （H21年度導入/30台）	継続	継続
東浦町	不用品回収で住民から回収した自転車を、公用自転車として再利用（2台） 公用自転車取扱基準を改正し、町内施設に3台配置した	継続	継続 不用品回収で住民から回収した自転車を、公用自転車として再利用	

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組
3 自転車共同利用の促進	一宮市	○レンタサイクルの実施 観光案内所にて有料のレンタサイクルを実施 ・1人乗り用・・・3台 ・幼児同乗用・・・2台	継続		継続
	半田市	○レンタサイクル事業	継続		継続
	春日井市	レンタサイクル 放置自転車をリサイクルすることで、廃棄物の減量を図りつつ、市民の移動支援を行う。	継続		継続
	豊田市	超小型電気自動車のシェアリング事業を実施（約50ステーション、コムス約100台規模で実施。（事業名：ハーモ）	継続	超小型電気自動車のシェアリング事業を実施（約50ステーション、コムス約100台規模で実施。（事業名：ハーモ）	継続
	NPO法人中部リサイクル運動市民の会	社員共有の自転車を事務所に設置し、継続中。	継続		
	NPO法人ボランティアリーネイバース	自転車共同利用の促進(事務所車普及)	継続	自転車共同利用の促進(事務所車普及)	継続
	安城市	○レンタサイクル事業の実施 11ポート61台でレンタサイクル事業を実施	継続		継続
	小牧市	○レンタサイクル事業の実施 公共交通の利用促進を目的とした市民団体である「公共交通利用促進協議会」（事務局：小牧市）にて、小牧駅西駐車場において、レンタサイクル事業を実施。	継続		継続
	知立市	駅前駐車場と市役所に自転車を設置し、観光・買物等に利用	継続		継続
	愛知県	○ リモ沿線レンタサイクル（パーク&ライド推進会議で運営・レンタサイクル台数70台） リモ沿線における公共交通の利用促進・観光周遊等の促進と地球温暖化防止のため、沿線の学生・住民・観光客や企業等の従業員に対して登録制のレンタサイクルを実施。	継続		継続
4 パーソナルモビリティの普及	春日井市		新規	歩行支援モビリティサービス実証実験	未定
	豊田市	一般市民を対象に、中心市街地においてとよたエコフルタウンを起点としたパーソナルモビリティの公道ツアー等の実証実験を実施	継続	一般市民を対象に、中心市街地においてとよたエコフルタウンを起点としたパーソナルモビリティの公道ツアー等の実証実験を実施	継続

6 交通流対策の推進

(1) 通過・流入交通の分散、回避

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
1 環状道路、バイパスの整備	中部地方整備局	【愛国】環状道路の整備 名古屋環状2号線の整備	継続		継続	
		【愛国】環状道路の整備 41号名濃バイパスの整備	継続		継続	
		【名四】バイパスの整備 国道23号名豊道路の整備	継続		継続	
		【名四】バイパスの整備 国道153号豊田北バイパスの整備	継続		継続	
		【名四】バイパスの整備 国道155号豊田南バイパスの整備	継続		継続	
	中日本高速道路(株)名古屋支社	交通の円滑化のための高規格幹線網の新規整備 名古屋第二環状自動車道 上郷スマートIC 守山スマートIC	継続	交通の円滑化のための高規格幹線網の新規整備 名古屋第二環状自動車道 上郷スマートIC 守山スマートIC 刈谷スマートIC	継続	交通の円滑化のための高規格幹線網の新規整備 名古屋第二環状自動車道 上郷スマートIC 刈谷スマートIC
	愛知県道路公社	○インターチェンジの新規整備（予定） ・武豊北IC（仮称） ・りんくうIC出口追加	継続		継続	
	(一社)中部経済連 合会	○広域幹線道路網の整備推進 愛知県などと共に、国等に対し愛知県の広域幹線道路網の整備等に対する要望活動を実施。併せて11月に開催されたシンポジウムにおいても愛知県と連携して道路網の必要性を提言	継続	○広域幹線道路網の整備推進 愛知県などと共に国等に対し広域幹線道路網の整備等に対する要望活動を実施。併せて「愛知県の広域道路整備の考え方に関する懇談会」にも参画し、整備推進に協力	継続	○広域幹線道路網の整備推進 従来からの要望活動に加え、個別道路の要望等についても必要に応じて対応
	大府市	市街地への通過交通を抑制するため、バイパス的な幹線道路の整備、延長	継続		継続	
	尾張旭市	○バイパスの整備 市道巡検道線の渋滞を緩和するために市道南栄3号線の整備を実施	継続		継続	
		新規	○バイパスの整備 市内主要幹線道路の渋滞を緩和するために都市計画道路霞ヶ丘線を整備	継続		
武豊町	○道路改良 町道大門田・清水第2号線 武豊町大字東大高宇清水ほか地内において道路改良工事（用地買収）を実施	継続		継続		
愛知県	○環状道路、バイパスの整備 県内35地区で、街路事業を実施。	継続	県内32地区で、街路事業を実施。	継続		
	○環状道路、バイパスの整備 東三河環状線はじめ107箇所	継続	○環状道路、バイパスの整備 東三河環状線はじめ105箇所	継続	継続実施（箇所数未定） 平成30年度以降も環状道路、バイパスの整備を推進する。	
2 立体交差事業等の推進	名古屋市	○道路と鉄道の立体交差化 単独立体交差事業の実施 ・都計守山本通線と名鉄瀬戸線 ・都計万場藤前線と近鉄名古屋線	継続		継続	・連続立体交差事業の実施 ・名鉄名古屋本線（山崎川～天白川）
	半田市	○JR武豊線連続立体交差化事業	継続		継続	
	江南市	○立体交差事業の推進 名鉄犬山線布袋駅付近において鉄道高架事業を実施	継続		継続	
	知立市	連続立体交差事業等の推進 知立駅付近連続立体交差事業を実施	継続		継続	
	愛知県	○連続立体交差事業等の推進 知立市、半田市において連続立体交差事業を実施。	継続		継続	
		○交差点改良 国道301号、豊田市九久平町交差点始め101箇所において、右折帯設置等の交差点改良工事を実施	継続	○交差点改良 国道301号、豊田市九久平町交差点始め76箇所において、右折帯設置等の交差点改良工事を実施	継続	○交差点改良 一般県道津島七宝名古屋線、あま市伊福交差点始め84箇所において、右折帯設置等の交差点改良工事を実施
		○立体交差事業等の推進 （主）岐阜稲沢線 荻安賀1号踏切はじめ4箇所	継続	○立体交差事業等の推進 （主）岐阜稲沢線 荻安賀1号踏切はじめ3箇所	継続	継続実施（箇所数未定） 平成30年度以降も立体交差事業等を推進する。

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）	平成30年度以降に実施予定の取組
3 駐車違反車両の取締強化、啓発の実施	愛知県警察本部	○ 交通事故や交通渋滞を誘発する悪質な違法駐車に対する取締りを重点的に実施	継続	継続
		光ビーコン(光学式情報収集提供装置)の整備 ※ 光ビーコン 90基の整備	継続	光ビーコン(光学式情報収集提供装置)の整備 ※ 光ビーコン 100基の整備 (予定)
	豊明市	○ 駐車違反車両の取締強化 ・ 駐車違反車両への張り紙による警告 ・ パトロールの強化 ・ 駐車違反車両の多い地域を警察へ情報提供	継続	継続
4 幹線道路における交通規制の実施	愛知県警察本部	1 交通実態に応じた信号システムの充実と見直し 2 交通規制等の見直し	継続	継続

(2) ITSを活用した環境負荷の少ない交通システムの構築促進

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
1 ETGの新たな利活用方法の検討	愛知県道路公社	○ETCレーンの増設及び更新を実施	継続	○ETCレーンの増設及び更新を実施（予定） ・知多半島道路（大高） ・南知多道路（南知多、豊丘） ・知多横断道路（常滑）	継続	○ETCレーンの増設及び更新を実施（予定） ・南知多道路（武豊、美浜）
		○ETCを活用した通勤時間帯割引 ・知多半島道路の通行料金を3割引（6時～9時、17時～20時）	継続		継続	
4 ITS総合情報提供基盤の整備	豊田市	移動支援ポータルサイト「みちなびとよた」及び鉄道駅等に設置したタッチパネル端末にて交通情報等を提供。利便性向上等の改善を実施。	継続	移動支援ポータルサイト「みちなびとよた」及び鉄道駅等に設置したタッチパネル端末にて交通情報等を提供。利便性向上等の改善を実施。	継続	移動支援ポータルサイト「みちなびとよた」及び鉄道駅等に設置したタッチパネル端末にて交通情報等を提供。利便性向上等の改善を実施。
	名古屋高速道路公社	○高速道路等情報サービス施設の整備 ・各種道路情報板の設置 ・ラジオによるハイウェイ（道路）情報の提供 ・VICS(道路交通情報通信システム)の提供 ・ホームページによる混雑情報の提供 ・中部国際空港への所要時間案内表示（情報板）6ヶ所 ・ハイウェイテレホンによる所要時間情報の提供 ・名古屋高速お客様センターを開設し各種問合せに対応 ・携帯電話による所要時間情報等の提供 ・同じ方向に向かう並行路線の経路分岐手前情報板で所要時間情報を提供 4ヶ所 ・知多半島道路（北行）愛知県道路公社情報板で名古屋高速の渋滞情報等を提供	継続		継続	○高速道路等情報サービス施設の整備 ・ITSスポットサービスの導入
	NPO法人ITS JAPAN	新中期計画に基づいた検討および提言活動 ・社会の多様性に対応した交通手段実現 ・サービス実現への情報利活用基盤づくり ・多様な地域の実情にあったITS社会実装	継続	新中期計画に基づいた検討および提言活動 ・多様な移動手段を連携するサービス検討 ・サービス実現への共通基盤のあり方調査 ・多様な地域での移動課題把握	継続	新中期計画に基づいた検討および提言活動 ・移動手段を連携したサービス実証検討 ・サービス実現への暫定的共通基盤づくり
5 グローブ情報の活用促進	豊田市	A B S 作動多発地点等のグローブ情報を分析し、交通事故対策を実施。グローブを活用し対策の効果検証を実施。	継続	グローブ情報を解析して抽出した危険箇所について、交通事故対策を実施。	継続	グローブ情報を解析して抽出した危険箇所について、交通事故対策を実施。
6 渋滞、駐車場、大気汚染等各種情報の提供	愛知県警察本部	交通情報提供装置の整備 ※ 交通情報板1基更新	継続	交通情報板1基更新（予定）	継続	交通情報板1基更新（予定）
	豊田市	引き続き、駐車場案内システムでの情報提供を実施	継続	利便性を向上した新たな駐車場案内システムを整備	継続	新たに整備した新駐車場案内システムでの情報提供を実施
	常滑市	自動車排出ガス測定局による大気汚染の常時監視	継続		継続	
	大府市	大気汚染測定局を市内3箇所から市内2箇所に変更	継続	市内2箇所で大気汚染測定	継続	
	愛知県	道路沿道環境状況予測システム運営 名古屋南部地域及び岡崎・安城地域を対象として、NO2及びSPMの日平均濃度が、環境基準を超過すると予測される場合、道路交通情報板を用いて道路沿道の大気汚染状況等の環境情報の提供を行った。 【実績】情報提供 0回	継続	【実績】情報提供0回（10月末まで）	継続	
7 産・学・行政の連携によるITSの推進	豊田市	引き続き、交通まちづくり推進協議会及び部会の運営を実施	継続	引き続き、交通まちづくり推進協議会及び部会の運営を実施	継続	引き続き、交通まちづくり推進協議会及び部会の運営を実施
	NPO法人ITS JAPAN	関連団体および産官学連携のITS推進 ・産官学連携によるITSシンポジウム実施 ・研究会、委員会活動における情報共有活動	継続	関連団体および産官学連携のITS推進 ・産官学連携によるITSシンポジウム実施 ・各種活動における情報共有活動	継続	（前年同様）
	刈谷市	○ITSに関する実証実験の実施 民間企業と連携しながら、ITS活用の具体的活用に向けた社会実験を進めた。	継続		継続	
	愛知県	「愛知県ITS推進協議会」の活動として、ITSあいち県民フォーラム（5月31日）等を実施。 （愛知県ITS推進協議会（事務局：交通対策課）の活動）	継続	「愛知県ITS推進協議会」の活動として、あいちITSワールド（11月23～26日）、ITSあいち県民フォーラム等を実施。 （愛知県ITS推進協議会（事務局：交通対策課）の活動）	継続	

7 自動車交通集中地域等の対策の推進

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組		平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
1 自動車交通集中地域等の対策の推進	愛知県警察本部	愛知県道路環境対策連絡会議における取組の推進	継続		継続		
	名古屋市長久手市	○常時観測局の測定結果の公表 ・インターネットにより、毎月の大気汚染常時監視速報値及び毎年度の確定値を情報提供している。（名古屋高速道路及び名古屋環状2号線9局）	継続		継続		
	長久手市	市内200地点において、二酸化窒素の簡易計測を実施	継続	市内200地点において、二酸化窒素の簡易計測を実施	継続	市内200地点において、二酸化窒素の簡易計測を実施	
	愛知県	<6-2-6再掲> 道路沿道環境状況予測システム運営	継続		継続		

8 普及啓発活動の推進

(1) 次世代自動車等先進エコカーの普及・啓発

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組		平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
1 次世代自動車等先進エコカー普及に向けた広報等の実施	中部運輸局	小牧市CNG車普及促進協議会の幹事としてCNG車の普及活動に参画	継続			終了	
	岡崎市	○燃料電池自動車の広報用パネル、エコカー普及に向けたパンフレットの作成	終了				
	一宮市	○FCVの展示 一宮市市制施行95周年記念式典（9月1日実施）にて、FCVを展示	終了				
	春日井市	緑と花のフェスティバル（4月29日から5月5日）、水防訓練（6月4、5日）、消費生活展（6月10、11日）、エコライフDAYにおける「打ち水」（8月3日）、高蔵寺ニュータウンウォーク（5月1日）、春日井まつり（10月15、16日）の会場及びエコメッセ春日井において土日に、電気自動車、燃料電池自動車展示	継続	高蔵寺ニュータウンウォーク（4月30日）、緑と花のフェスティバル（5月3日から5月5日）、アースデイ朝宮公園（6月3日）、春日井まつり（10月21、22日開催予定）、エコメッセフェスタの会場及びエコメッセ春日井において土日に、電気自動車、燃料電池自動車展示	継続		
	豊川市	○おいでん祭でEV車、燃料電池車を展示 ・5/21・22開催	継続	○おいでん祭でEV車、燃料電池車を展示 ・5/27・28開催	継続		
	豊田市	「とよたSAKURAプロジェクト」を立ち上げ、環境対策、防災対策の両側面において統一的な市民啓発を展開予定 【取組内容】 SAKURAプリウスPHVを活用した下記取組や各種イベント時等に、SAKURA色のTシャツの着用やロゴを使い統一的なPRを行う （1）防災関連イベント、防災訓練、地域防災講座での活用 一給電機能を持つプリウスPHVを「走る発電機」として災害時の電源としてPR （2）環境関連イベント、環境教育での活用（環境関連施設、学校） ・エコファミリー支援補助金のPR（次世代自動車、外部給電・充電設備への補助） （3）エコフルタウンイベントでの活用（平常時は、スマートハウスとセットで展示） （4）豊田市PRイベントでの活用	継続	【イベント出展】 6月4日 エコットフェスタ（ブース来場者約100人） 9月23日～24日 産業フェスタ（ブース来場者400人） 【地域での利活用】 市内各地域の催事で電源として次世代自動車を活用することで、効果的に市民に訴求 6月～7月 マイタウンおいでん 8月3日～4日 松平防災キャンプ 9月16日 浄水地区イベント	継続	民間事業者、愛知県と連携を深め、引き続き普及促進を推進する。	
	幸田町	燃料電池車の購入補助を実施 次世代自動車普及促進費補助金 個人向け：18件 事業者向け：40件	継続	燃料電池車の購入補助を実施 次世代自動車普及促進費補助金（8月末時点） 個人向け：1件 事業者向け：12件	継続	引続き補助を予定	
幸田町	○次世代自動車等先進エコカー普及に向けた広報等の実施 次世代自動車購入に対する補助金について広報9月号に掲載	継続		継続			

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）	平成30年度以降に実施予定の取組
1 次世代自動車等先進エコカー普及に向けた広報等の実施	(一社) 日本自動車工業会	COOL CHOICE キャンペーンに協力した。	継続 環境省COOL CHOICE の一環として、チョイス！エコカーキャンペーンに賛同し協力している。	継続 環境省COOL CHOICE の一環として、チョイス！エコカーキャンペーンに賛同し協力する予定。
	岩倉市	岩倉市主催の「環境フェア」（11月12日・13日開催）において電気自動車1台を展示	終了 今年度実施未定	
	東栄町		新規 次世代自動車と先進エコカー普及に向けて広報等の実施 ・8月30日中学生を対象にEVワークショップ ・9月3日防災訓練内防災フェアでのEV活用炊出し訓練	継続 次世代自動車と先進エコカー普及に向けて広報等の実施 ・町内で行われるイベントでのEV活用事例紹介 V2L等供給業者との調整次第 ※
2 エコカーフェアやモーターショーの企画開催	名古屋市	○イベントの実施 ・環境デーなごや2016中央行事（9月17日）でエコカーコーナーを設け、FCV、EV、PHV、CDV、CNG車、LPG車等を展示 ○試乗会の実施 ・エコカー試乗会でのFCV、PHV、EVの運転試乗（10月30日 CBC自動車学校） ・FCVの同乗試乗（8月3～5日 環境科学調査センター、8月6日 サイエンスパーク） ○出前講座の実施 ・小・中・高校生を対象とした出前講座でのFCV、EVの展示	継続 ○イベントの実施 ・環境デーなごや2017中央行事（9月16日）でエコカーコーナーを設け、FCV、EV、PHV、CDV、CNG車、LPG車等を展示 ○試乗会の実施 ・燃料電池バスの体験試乗（7月28日～30日 ポートメッセなごや） ・FCVの同乗試乗（8月5日 サイエンスパーク） ○出前講座の実施 ・小・中・高校生を対象とした出前講座でのFCV、EV、PHVの展示	継続 ○イベントの実施 ○試乗会の実施 ○出前講座の実施
	豊橋市	高等学校エコカーレース総合大会 6/5開催	継続 高等学校エコカーレース総合大会 6/4開催	継続
	(一社) 愛知県トラック協会	○10月2日、豊田スタジアムにおいて「第12回みんなで学ぼう！トラックと交通安全・環境フェア」を開催（3万人）	継続 ○10月1日、豊田スタジアムにおいて「第13回みんなで学ぼう！トラックと交通安全・環境フェア」を開催（3万3千人）	継続
	(一社) 日本自動車工業会	平成28年は東京モーターショーの休催年。29年開催に向けて、準備の年とした。 5月の伊勢志摩サミット、9月末に開催されたG7交通大臣会合において、電気自動車、燃料電池車等の次世代自動車展示され、試乗に供されたが、このイベントに自工会として協力。	継続 第45回東京モーターショーを開催（10月27日～11月5日）。セミナー、出展ブース等のイベントにおいて、次世代自動車等の普及啓発等を実施する予定。	継続 平成30年は東京モーターショーは休催年。 政府や自治体のエコカーフェアなどのイベント催行の場で、都度、協力する予定。
	田原市	○次世代自動車等先進エコカーの普及啓発 平成28年8月6日に開催した「たはらエコフェスタ2016」において燃料電池自動車MIRAI及び超小型EVコムスの展示会を実施	継続 ○次世代自動車等先進エコカーの普及啓発 平成29年7月23日に開催した「たはらエコフェスタ2017」において燃料電池自動車MIRAIの試乗会及び新型プリウスPHVの展示会を実施	継続
3 次世代自動車等先進エコカー導入に関する自主的取組の促進	NPO法人ITS JAPAN	安全・環境にやさしい自動運転取組み推進 ・各種活動を通じて、会員情報交流実施 ・SIP-adusへの協力活動を推進	継続 安全・環境にやさしい自動運転取組み推進 ・世界動向調査とSIP活動支援 ・公共交通利用シナリオ検討	継続 (前年同様)
	愛知県	エコカーの導入等、あいち自動車環境戦略2020に掲げる施策に積極的に取り組む事業所を「自動車エコ事業所」として認定。 【H28年度認定事業所数：2、H16～H28累計認定事業所数：106】	継続	継続
4 燃料電池自動車の普及	名古屋市	○イベントでのFCVの展示 ・区民まつり ○試乗会の実施 ・FCVの運転試乗（10月30日 CBC自動車学校） ・FCVの同乗試乗（8月3～5日 環境科学調査センター、8月6日 サイエンスパーク）	継続 ○イベントでのFCVの展示 ・区民まつり、防災訓練 ○試乗会の実施 ・燃料電池バスの体験試乗（7月28日～30日 ポートメッセなごや） ・FCVの同乗試乗（8月5日 サイエンスパーク）	継続 ○イベントでのFCVの展示 ○試乗会の実施
	岡崎市	○エコドライブコンテスト、イベント時、環境学習時にFCVの展示、試乗の実施	継続	継続
	春日井市	消費生活展（6月10、11日）、春日井まつり（10月15、16日）、高蔵寺ニュータウンウォーク（5月1日）において、燃料電池自動車を展示	継続 高蔵寺ニュータウンウォーク（4月30日）、アースデイ朝宮公園（6月3日）において、燃料電池自動車を展示	継続
	西尾市	環境Wave21において、FCVの展示及び試乗会を実施。（12月6日）	終了	
	幸田町	○燃料電池自動車の普及 燃料電池自動車購入に対して補助金を交付 事業者1台、個人0台	継続	継続
	(一社) 日本ガス協会（東邦ガス株）	あいちFCV普及促進協議会への参画、および「メッセナゴヤ」等のイベントへの参加によるFCVと水素ステーションのPR	継続	←

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）		平成30年度以降に実施予定の取組	
4 燃料電池自動車の普及	蟹江町		新規	第36回かにえ町民まつり2017にて、燃料電池自動車の展示を予定 (10月7日・8日)		
	愛知県	<ul style="list-style-type: none"> ・あいちFCV普及促進協議会の開催（2回） ・FCV展示・試乗会の実施（36回） ・メッセナゴヤ等への出展（2回） ・水素社会普及啓発ゾーンによる普及啓発（毎日） 	継続		継続	

9 道路環境改善対策

(1) 道路構造対策、沿道の環境改善対策の推進

施策名	実施主体	平成28年度実施した取組	平成29年度実施した取組（予定も含む）	平成30年度以降に実施予定の取組
1 道路構造対策	中部地方整備局	【名国】道路施設対策 国道23号港区港陽北、港区藤高地内において、環境施設帯設置工事を実施予定（緑地帯）	継続 ○道路施設対策 国道23号港区いろは町～緑区大高町神戸地内において、環境施設帯設置工事を実施予定（緑地帯）	継続
	名古屋市	○低騒音舗装の実施 県道名古屋津島線始め幹線道路にて低騒音舗装を実施（L=約6.1km）	継続 東道名古屋犬山線始め幹線道路にて低騒音舗装を実施（L=約6.4km）	継続 幹線道路にて低騒音舗装を実施（延長未定）
	名古屋高速道路公社	○低騒音舗装（排水性舗装）の実施 ・高速1号橋線（北行）：5.6km	継続 ○低騒音舗装（排水性舗装）の実施 ・高速1号橋線（南行）：5.6km	継続
	刈谷市	○道路構造対策 ●低騒音舗装（排水性舗装）の実施 ・市道01-4号線、西境町地内、L=124m ●市街化区域内において排水性舗装を1路線実施 ・市道01-15号線、築地町、L=378m	継続 ○道路構造対策 ●低騒音舗装（排水性舗装）の実施 ・市道01-4号線、西境町地内、L=250m ●市街化区域内において排水性舗装を1路線実施 ・市道01-15号線、築地町、L=288m	○道路構造対策 ●低騒音舗装（排水性舗装）の実施 ・市道01-4号線、今川町地内、L=200m
		○道路構造対策 低騒音舗装（排水性舗装）の実施 ・市道2-496号線、銀座地内、L=50m	継続 ○道路構造対策 低騒音舗装（排水性舗装）の実施 ・市道2-496号線、銀座地内、L=107m	継続 ○道路構造対策 低騒音舗装（排水性舗装）の実施 ・市道2-496号線、銀座地内、L=175m
			新規 ○道路構造対策 低騒音舗装（排水性舗装）の実施 ・市道01-40号線、熊野町他、L=133m	終了
				新規 ○道路構造対策 低騒音舗装（排水性舗装）の実施 ・市道01-36号線、住吉町地内、L=482m
	愛知県	○排水性舗装の実施 必要な箇所において、実施する。	継続	継続
		○低騒音舗装の敷設 （主）蟹江飛島線・弥富市竹田地内の舗装補修工事において、排水性舗装を実施。	継続 ○低騒音舗装の敷設 なし	継続 ○低騒音舗装の敷設 土地利用及び自動車の交通状況を勘案して道路交通騒音の低減を図る必要がある箇所において、排水性舗装を実施
	2 沿道の環境改善対策	中部地方整備局	【名国】沿道の環境改善 国道23号通行ルール周知の広報を実施予定	継続
名古屋高速道路公社		○住宅の防音工事に対する助成を実施 ・名古屋高速道路沿線において、騒音レベルが基準を超える家屋を対象に適宜実施	継続	継続
稲沢市		平成27年度に実施した対策の事後調査とワークショップの開催 ワークショップにて決定した対策案の実施	継続 平成28年度ワークショップにて決定した対策の実施・予定	継続 平成28年度ワークショップにて決定した対策の実施予定
愛知県		土地区画整理事業において、幹線道路の沿道に適切な土地利用の誘導を推進する。	継続	継続
3 自動車騒音の最新規制適合車への転換を促進	(一社)日本自動車工業会	自動車騒音の低減に向けて、騒音規制に対応した世界トップクラスの静かな自動車を供給。 二輪車、四輪車とも国連法規に即した新たな国際的基準への適合に係る活動を推進した。	継続 自動車騒音の低減に向けて、騒音規制に対応した世界トップクラスの静かな自動車を継続して供給。 二輪車、四輪車とも国連法規に即した新たな国際的基準への適合に係る活動を推進している。	継続 自動車騒音の低減に向けて、騒音規制に対応した世界トップクラスの静かな自動車の供給を継続する。 二輪車、四輪車とも国連法規に即した新たな国際的基準への適合に係る活動を推進する予定。

事業者の皆様へ

貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱

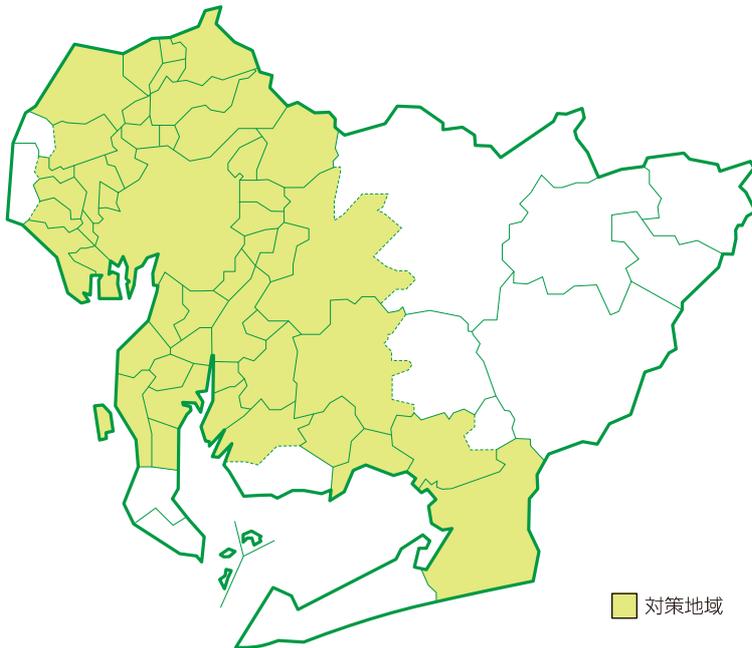
- 非適合車の使用抑制
- エコドライブの実施



大気環境基準の達成維持及び地球温暖化防止を目指して、自動車NOx・PM法の対策地域外からの流入車も含め、対策地域において運行する車両を対象として、車種規制非適合車の使用抑制及びエコドライブの促進を図るための要綱を制定・施行しました。皆様のご協力をお願いします。

対象となる地域と車両

対策地域



愛知県内47市町村 (平成23年4月現在)

- 名古屋市 ■豊橋市 ■岡崎市*1 ■一宮市
- 瀬戸市 ■半田市 ■春日井市 ■豊川市*2
- 津島市 ■碧南市 ■刈谷市 ■豊田市*3
- 安城市 ■西尾市*4 ■蒲郡市 ■犬山市
- 常滑市 ■江南市 ■小牧市 ■稲沢市*5
- 東海市 ■大府市 ■知多市 ■知立市
- 尾張旭市 ■高浜市 ■岩倉市 ■豊明市
- 日進市 ■愛西市*6 ■清須市 ■北名古屋市
- 弥富市 ■みよし市 ■あま市 ■東郷町
- 長久手町 ■豊山町 ■大口町 ■扶桑町
- 大治町 ■蟹江町 ■飛島村 ■阿久比町
- 東浦町 ■武豊町 ■幸田町

- ※1 旧額田町を除く
- ※2 旧一宮町を除く
- ※3 旧藤岡町、旧小原村、旧足助町、旧下山村、旧旭町及び旧稲武町を除く
- ※4 旧一色町、旧吉良町及び旧幡豆町を除く
- ※5 旧祖父江町を除く
- ※6 旧立田村及び旧八開村を除く

対象自動車

1 1,4,6ナンバーのトラック、バン



2 2ナンバーのバス、マイクロバス (一部、5,7ナンバーを含む)



3 8ナンバーの特种自動車



(人の運送の用に供する乗車定員11人未満のもの(救急車等)を除く)

- ※ 緑ナンバー、白ナンバーとも対象
- ※ 乗用自動車、軽自動車、二輪自動車、及び特殊自動車(0, 9ナンバー)は対象外

適合・非適合の見方

自動車検査証(車検証)の「備考」欄で、排出ガス基準の適合状況を確認してください。

車検証

【備考欄の記載内容】

● 「使用車種規制(NOx・PM) 適合」

→ 適合車

● 上記以外
「この自動車はNOx・PM対策地域内に使用の本拠を置くことができません」など

→ 非適合車

(対策地域内では運行させないようにしましょう。)

- ※一部、備考欄に適合状況の記載がない場合もありますが、型式・燃料の種類から確認できます。
- 詳しくは愛知県ホームページ (<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/taiki-ka/car/yoko/index.html>) をご覧ください。
- ※平成17年規制適合車(ADF-など型式記号が3桁のもの)、天然ガス自動車、電気自動車は全て適合車です。

【運送を行う事業者】の取組内容

環境に配慮した運送を実施する。

① 非適合車を使用しないようにしましょう。

対策地域外からの車であっても、自動車NOx・PM法に定める排出ガス基準に適合しない自動車(非適合車)は、対策地域内では運行させないようにしましょう。

澄んだ青空を取り戻すために
環境への負荷が小さい自動車を
利用しましょう。



② 適合車ステッカーを表示しましょう。



環境省・国土交通省へのステッカー交付申請について

適合車ステッカーは、環境省又は国土交通省に申請することにより、無償交付(郵送料は必要)を受けられます。

詳しくは、下記のURLを参照してください。

環境省ウェブサイト <http://www.env.go.jp/air/car/noxpm/sticker.html>

国土交通省ウェブサイト http://www.mlit.go.jp/jidosha/noxpm/houkoku/noxpm_sticker.html

※ 白ナンバー車は環境省、緑ナンバー車は国土交通省。

次のステッカーも適合車ステッカーに該当します。※ 星の数などは排ガス性能により異なります。



③ エコドライブを実践・推進しましょう。

自動車から排出される大気汚染物質(NOx・PM)・温室効果ガス(CO₂)を最小限にとどめるため、ドライバーと運行管理者は協力してエコドライブを実践・推進してください。

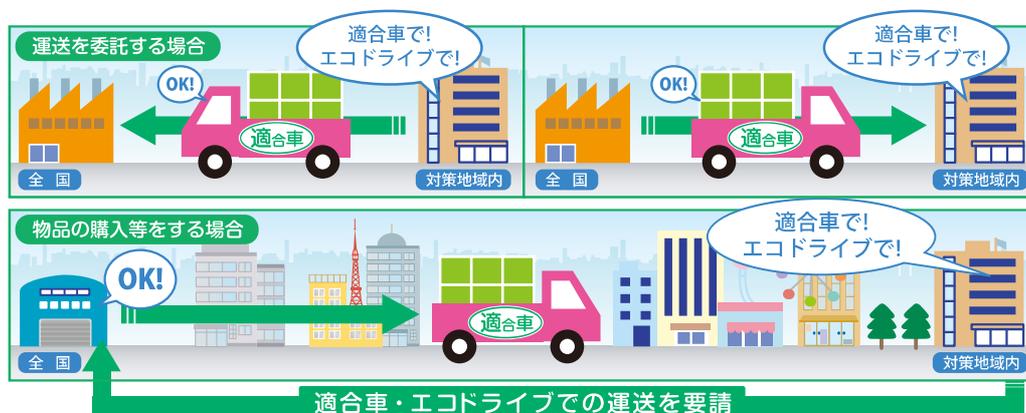
【荷主等・旅行者】の取組内容

環境に配慮した運送を要請・確認する。

非適合車の不使用を要請・確認しましょう。

■ 荷主等(荷受人を含む)は

対策地域内から、又は対策地域内に貨物・廃棄物の運送を委託する場合や、物品を購入・借入れ・譲受けし運送させる場合は、相手先に対して非適合車を使用しないこととエコドライブの実施を要請してください。また、非適合車が使用されていないか確認してください。



■ 旅行者は

対策地域内での発着を伴う旅客運送を委託する場合は、バス事業者に対し、非適合車を使用しないこととエコドライブの実施を要請してください。また、非適合車が使用されていないか確認してください。



特定荷主等及び特定旅行者は定期報告を

特定荷主等、特定旅行者は毎年度6月30日までに指定様式により愛知県知事(名古屋市内の方は「名古屋市長」、岡崎市内の方は「岡崎市長」)に下記の項目を報告してください。

- 非適合車を使用しない旨の要請状況 非適合車の確認状況

報告先・報告様式等につきましては愛知県ホームページをご確認ください。

<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/taiki-ka/car/yoko/index.html>

※本制度での特定荷主等とは下記に定義する荷主等をいうものであり、省エネ法に規定される特定荷主とは異なります。



「特定荷主等」とは 荷主等のうち、継続的に又は反復して、貨物等を他の者に委託して運送させ、又は購入等をする物品を運送させる者であって、資本金の額等が3億円を超え、かつ、対策地域内に建物の延べ面積が1万平方メートルを超える事業所又は敷地面積が3万平方メートルを超える事業所を有するもの。

「特定旅行者」とは 対策地域内に営業所を有する第一種旅行者であって、他の者に委託して対策地域内で対象自動車を利用するもの。

環境に配慮した運送を周知する。

① 非適合車の不使用を周知しましょう。

■ 中継施設の管理者は

中継施設に対象となる自動車で出入りする事業者に対して、「対策地域内では非適合車を使用しないよう求められている」ことについて周知してください。



「中継施設」とは、対策地域内に存する以下の施設のことをいいます。

- 港湾法に規定する重要港湾
- 空港法に規定する空港
- 鉄道の貨物駅
- 卸売市場法に規定する中央卸売市場

■ 対象自動車を販売・賃貸する事業者は

対象自動車を購入、又は賃借する事業者に対して、「対策地域内では非適合車を使用しないよう求められている」ことについて周知してください。



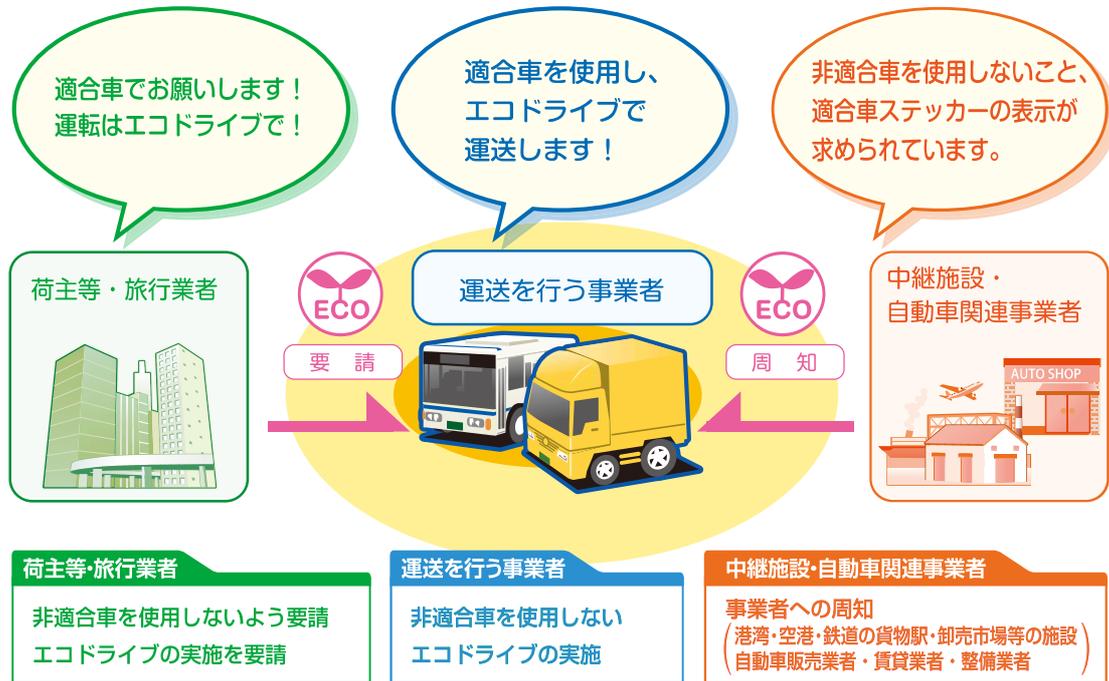
② 適合車ステッカーを周知しましょう。

■ 対象自動車を整備する事業者は

対象自動車の整備を受ける事業者に対して、「対策地域内で適合車を運行する場合、適合車ステッカーの表示が求められている」ことについて周知してください。



貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱 概要図



愛知県環境部大気環境課地球温暖化対策室
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
【TEL】 052-954-6217 【FAX】 052-955-2029

名古屋市 City of Nagoya

名古屋市環境局地域環境対策部大気環境対策課
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
【TEL】 052-972-2682 【FAX】 052-972-4155



岡崎市環境部環境保全課
〒444-8601 岡崎市十王町二丁目9番地
【TEL】 0564-23-6194 【FAX】 0564-23-6536